



## 取扱説明書

# MDA-W988J MDA-W966J

MD/CD/DSPヘッドユニット

---

**MP3** **MLX** **MDLP** **4B-NET**  

お問い合わせはインフォメーションセンターへ  
〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号  
FAX : 03-3494-1767 Phone : 03-3779-0711  
電話受付時間 土日祝日を除く 9:30 ~ 17:30  
電話は混雑が予想されます。FAXかハガキをおすすめします。  
アルパインホームページ : <http://www.alpine.co.jp>

**アルパイン株式会社**  
Designed by ALPINE Japan  
Printed in Japan (S-474)  
68P50520Y41-A

# ⚠️ 安全にお使いいただくために

ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



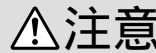
強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

## 取り扱い上のご注意（共通）

### 本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

### 無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いします。

### 本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

### お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

### 極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

### 可動部分の動作中は操作をしない

ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

### 温度上昇について

可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

### 可動ディスプレイは必ず閉じる

可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

## 取り扱い上のご注意（MD）

### ミニディスク（MD）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

シャッターを開けない／内部にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する。

### 結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付き誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどミニディスクを取り出しておくと正常に動作します。

### 音飛びについて

路面状況の悪いところを走行していると「音飛び」を起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

## 取り扱い上のご注意（CD）

### 本機で使えるディスクについて

下記ディスクマークのついているコンパクトディスクをお勧めします。

また、本機は音楽専用のCD-R（CD-Recordable）／CD-RW（CD-ReWritable）、MP3ファイル形式のCD-R／CD-RWの再生が可能です。

- ・ 次のようなディスクは、再生できないことがあります。指紋やキズが付いている／車内や製品内に長時間放置した／データ書き込み状態が不安定／データ書き込みに失敗し再録音した場合など
- ・ MP3ファイルはISO9660レベル1またはレベル2フォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは45ページを参照してください。



### コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼ったり文字を書いたりしない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高音多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

### 結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付き誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

### 音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

### 特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

### コンパクトディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

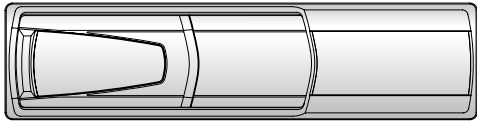
### 新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

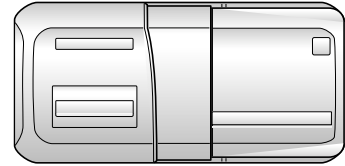
### CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- ・ CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- ・ 行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、お試してください。

# CDも、MDも、お気に入りのアルバムは、 アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！



**CD CHANGER** CHA-S634



**MD CHANGER** MHA-S670

車室内にもセットできる超小型サイズのCD 6枚チェンジャーが、  
CD-R/CD-RWの再生、さらにMP3再生にも対応して新登場。  
人気のMDソースが思う存分楽しめるMDチェンジャーも、大ブレイク。  
車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。  
そのヘッドユニットをセンターに、車や聴きたいソースにあわせて  
高音質チェンジャーを拡張装備すれば、もっと“いい音”に抱かれる  
快適ドライブが実現。アルパインのチェンジャーにプラスして、  
あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！

# 目次

## 安全にお使いいただくために

警告 / 注意	2
目次	5

## 基本操作

リセットする	6
電源のON/OFF	6
ディスプレイの角度調整	6
ディスプレイの開閉	6
セットアップ (SETUP) について	7
MD (ミニディスク) を聴く	7
CDを聴く	8
ラジオを聴く	8
チェンジャーでCD (MD) を聴く	9

## MD/CD/チェンジャー操作

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	10
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	10
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	10
クイックサーチ	10
CDテキスト/MDタイトルから探す	10

## MP3操作

MP3選曲範囲の設定	11
MP3再生データの設定	11
MP3を聴く	12
フォルダを選択する	12
ファイルサーチ	12
曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	13
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	13
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	13
クイックサーチ	13

## ラジオ操作

放送局を記憶する	14
自動的に放送局を記憶する (AUTO MEMORY)	14
記憶した放送局を受信する	14
道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)	14

## サウンド調整

音量 / バランス / フェダー / ディフィートの調整	15
MXモードの設定	15
イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ	16
パラメトリックEQの調整と記憶 / 呼び出し (MDA-W988Jのみ)	16
グラフィックEQの調整と記憶 / 呼び出し (MDA-W966Jのみ)	17
カスタマイズサウンドデータベースを使う (Customized Sound Database)	17
自動的に時間補正を行う (Auto Time Correction) (MDA-W988Jのみ)	18
手動による時間補正の調整と記憶 / 呼び出し	19
タイムコレクション (時間補正) について	19
Bass Focus の設定	20
Bass Hardness の設定	20
Bass Dynamics の設定	21

X-OVERとは	21
X-OVERの調整と記憶 / 呼び出し	22
自動的にスピーカー調整を行う (オートスピーカー) (MDA-W988Jのみ)	23

## タイトル / テキスト操作

タイトル / テキスト / スクロールとは	24
タイトル / テキストを表示する	24
スクロールの設定	25
タイトルをつける	25
記憶したタイトルを消す	25

## 便利な機能

ミュートのON/OFF	26
グラフィックスクリーンを切りかえる	26
動画表示の設定 (MDA-W988Jのみ)	26
オートボリュームを設定する	26
操作音の音量設定 (MDA-W988Jのみ)	27
操作音パターンの切りかえ (MDA-W988Jのみ)	27
操作音のON/OFF (MDA-W966Jのみ)	27
オープニングメッセージのON/OFF (MDA-W988Jのみ)	27
カレンダー表示パターンの切りかえ (MDA-W988Jのみ)	27
TUNER (FM)音質の設定	28
ディスプレイ表示をOFFにする (BLACK OUT機能) (MDA-W988Jのみ)	28
i-Personalize™ (MDA-W988Jのみ)	28
時刻 / カレンダーを設定する (MDA-W988Jのみ)	29
時刻を設定する (MDA-W966Jのみ)	29
時刻を表示する	30
デモンストレーション機能	30
デモンストレーション機能を解除する	30
拡張ユニット操作	
サブウーハーを接続する	31
サブウーハー出力の設定	31
外部アンプを接続する (MDA-W988Jのみ)	31
外部入力の設定	32
外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)	32
外部割り込みモードの設定	33
外部割り込み時のデフォルト設定	33
TV (Ai-NET対応) を操作する	33

## リモコン操作 (MDA-W988Jのみ)

使用時のご注意 / 電池を入れる	34
基本 / MD/CD(MP3)/チェンジャー / ラジオ操作	34
オーディオプロセッサ操作	35

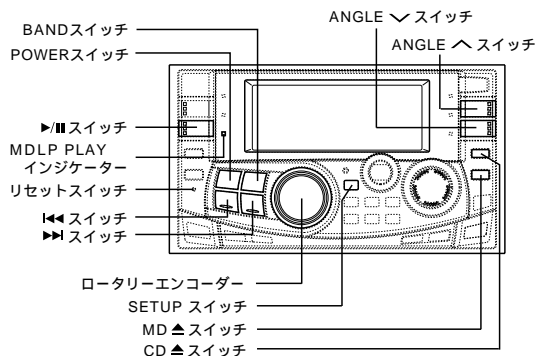
## 取り付けと接続 36

## その他

故障かな?と思ったら	41
規格	42
保証について	42
お問い合わせ窓口	43
Q & A	44
MP3について	45
知っておきたい豆知識	46
カスタマイズサウンドデータベース車種一覧	48



# 基本操作



## 基本操作

デモンストレーションについて  
 本機にはデモンストレーション機能が用意されています。  
 初めて電源をONした場合は、自動的にデモンストレーションが始まります。  
 デモンストレーションを解除するには、「デモンストレーション機能を解除する」(30ページ)を参照してください。



### リセットする

初めて使うときや、チェンジャーなどを取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には「POWER」を3秒以上押して必ず電源を切る。
- 2 リセットスイッチをペン先などで押す。



**Memo** リセットすると、時刻や設定した内容が消去されます。もう一度、設定し直してください。セットアップ (SETUP) での設定や、サウンド調整でのプリセット (Preset) メモリーはリセットしても消去されません。

### 電源のON/OFF

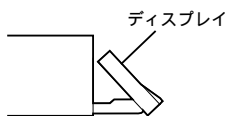
- 1 「POWER」を押す。  
電源が入る。
- 2 電源を切るときは、「POWER」を3秒以上押す。

**Memo** 電源は「CD ▲」、「MD ▲」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、CD/MDを挿入すれば電源が入ります。

### ディスプレイの角度調整

ディスプレイを見やすい角度 (5段階) に調整することができます。

- 1 「ANGLE ∨」または「ANGLE ∨」を押して角度を調整する。  
角度は押すごとに切りかわる。  
調整したディスプレイの角度はそのまま記憶される。



### ディスプレイの開閉

- 1 「CD ▲」または「MD ▲」を押す。  
ディスプレイが開く。

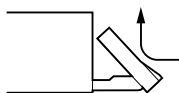


(ディスプレイが開ききった状態)



「CD ▲」を押したときは、ディスプレイは半分だけ開きます。

- 2 ディスプレイを戻すには、「CD ▲」または「MD ▲」を押す。
  - ・角度調整あり  
ディスプレイは記憶された角度になる。
  - ・角度調整なし  
ディスプレイは全閉する。



ディスプレイが開ききった状態では、「CD ▲」または「MD ▲」以外、操作できません。本機の電源がONのとき、開ききった状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。「CD ▲」を押して開いたときは、警告ブザーは鳴りません。イグニッションキーをOFFにしてから、しばらくすると、ディスプレイは全閉します。



## セットアップ (SETUP) について

本機には、さまざまなセットアップ (SETUP) 機能が用意されています。例えば、スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受け付けたことを伝える「操作音の音量設定」(MDA-W988J)、「操作音のON/OFF」(MDA-W966J)など、自分好みの設定に変更することができます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、各設定モードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、設定を行う。
- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常モードに戻る。

設定項目	参照ページ	MDA-W988J
TUNER (FM) 音質の設定	28	TUNER SELECT MODE NORMAL/HI-FI/STABLE
サブウーハーON/OFF	31	SUBWOOFER ON/OFF
サブウーハー出力設定 <sup>1</sup>	31	SUBWOOFER STEREO/MONO
MP3選曲範囲の設定	11	MP3 PLAY MODE DISC ALL/FOLDER ONLY
MP3再生データの設定	11	DISC PLAY MODE CD-DA/CD-DA&MP3
操作音の音量設定 <sup>3</sup>	27	SOUND GUIDE 3(OFF,1~5)
スクロール設定	25	TEXT SCROLL MANUAL/AUTO
外部割り込みの設定	33	INTERRUPT MUTE ON/OFF
外部割り込み時のディフェルト設定	33	INTERRUPT AUDIO ON/OFF
外部入力の設定	32	AUX ON/OFF
AUX表示切り替え <sup>2</sup>	32	AUX NAME AUXILIARY/TV/VTR/GAME
外部アンプ接続時の設定	31	P-IC VOLT. ON/OFF
オープニングメッセージのON/OFF	27	OPENING MESSAGE ON/OFF
カレンダー表示(ターンの切り替え)	27	CALENDAR DISPLAY yyyy/mm/dd / mm/dd/yyyy / dd/mm/yyyy
デモのON/OFF	30	DEMO ON/OFF

設定項目	参照ページ	MDA-W966J
TUNER (FM) 音質の設定	28	TUNER MODE NORMAL/HI-FI/STABLE
サブウーハーON/OFF	31	SUBWOOFER ON/OFF
サブウーハー出力設定 <sup>1</sup>	31	SUBWOOFER STEREO/MONO
MP3選曲範囲の設定	11	MP3 MODE DISC ALL/FOLDER ONLY
MP3再生データの設定	11	PLAY MODE CD-DA/CD-DA&MP3
操作音のON/OFF	27	BEEP ON/OFF
スクロール設定	25	TEXT SCROLL MANUAL/AUTO
外部割り込みの設定	33	INTERRUPT MUTE ON/OFF
外部割り込み時のディフェルト設定	33	INT AUDIO ON/OFF
外部入力の設定	32	AUX ON/OFF
AUX表示切り替え <sup>2</sup>	32	AUX NAME AUXILIARY/TV/VTR/GAME
デモのON/OFF	30	DEMO ON/OFF

太字部分が工場出荷時の設定ポジションです。  
 1 サブウーハーONのとき表示される。  
 2 AUX ONのとき表示される。  
 3 外部オーディオプロセッサ接続時は表示されない。

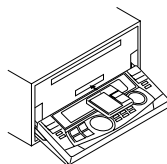
## MD (ミニディスク) を聴く

本機はMDLP録音されたMDも再生することができます。MDLP再生時は、「MDLP PLAYインジケータ」が点灯します。

- 1 「MD ▲」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 ミニディスクを挿入する。  
ディスプレイが閉まり演奏がはじまる。

<挿入時の注意>

ラベル面を上にする。  
ディスクに印字された矢印に従い、挿入する。



すでにミニディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、MDモードにすると演奏がはじまります。

→ TUNER → MD → CD → CHANGER ←  
(チェンジャー接続時のみ)

MDLPとは...

従来のミニディスク (MD) を2倍モード (LP2モード) 4倍モード (LP4モード) で長時間の録音再生が楽しめます。MDLP対応デッキなどで録音されたディスクを挿入すると、複数のLPモードが混在する場合でも、自動的にLPモードを読み取り再生することができます。



- 3 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

演奏中の曲の頭出し...「◀◀」を押す。  
早戻し .....「◀◀」を押し続ける。

次の曲の頭出し.....「▶▶」を押す。  
早送り .....「▶▶」を押し続ける。

- 4 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量を調整する。  
---dB(MIN)~00dB(MAX)

- 5 演奏を一時停止するときは、「▶■」を押す。  
再度「▶■」を押すと、演奏が再開する。

- 6 ミニディスクを取り出すときは、「MD ▲」を押す。  
ミニディスクは必ず取り出す。

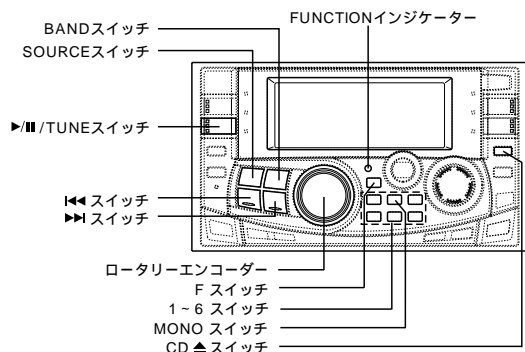
- 7 開いたディスプレイを戻すには「MD ▲」を押す。



ディスプレイが開いた状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。  
MD/CD/チェンジャーモード時に「BAND」を押すとディスクモードが切りかわります。



# 基本操作



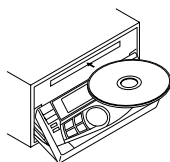
## CDを聴く

- 1 「CD ▲」を押して、ディスプレイを開く。



ディスプレイは全開しません。半開です。

- 2 ディスクを挿入する。  
ディスプレイが閉まり演奏がはじまる。  
<挿入時の注意>  
ラベル面を上にする



すでにディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、CDモードにすると演奏がはじまります。

→ TUNER → MD → CD → CHANGER →  
(チェンジャー接続時のみ)

シングルCD (8cm CD) はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。CDテキストが入ったディスクなど、ディスクによっては演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

- 3 「◀」または「▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

演奏中の曲の頭出し ... 「◀」を押す。  
早戻し ..... 「◀」を押し続ける。

次の曲の頭出し ..... 「▶」を押す。  
早送り ..... 「▶」を押し続ける。

- 4 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量を調整する。

---dB(MIN) ~ 00dB (MAX)

- 5 演奏を一時停止するときは、「▶/■」を押す。  
再度「▶/■」を押すと、演奏が再開する。

- 6 ディスクを取り出すときは、「CD ▲」を押す。  
ディスクは必ず取り出す。

- 7 開いたディスプレイを戻すには「CD ▲」を押す。



MD/CD/チェンジャーモード時に「BAND」を押すとディスクモードが切りかわります。

本機はMP3再生が可能です。  
詳しくは、「MP3操作」(11~13ページ)を参照してください。



## ラジオを聴く

- 1 「SOURCE」を押して、TUNERモードにする。  
TUNERモードにするとアンテナが伸びる。(パワーアンテナ装着車のみ)

→ TUNER → MD → CD → CHANGER →  
(チェンジャー接続時のみ)



パワーアンテナ装着車は、パワーアンテナ/ブースターコードを必ず接続してください。「基本接続図」(39ページ)を参照してください。

- 2 「BAND」を押して、バンドを選ぶ。

→ FM1 → FM2 → AM →

- 3 「TUNE」を押して、チューニングモードを選ぶ。

MDA-W988J

→ DX → LOCAL → MANUAL →  
(ディスタンスモード) (ローカルモード) (マニュアルモード)

MDA-W966J

→ DX SEEK → SEEK → (消灯) →  
(ディスタンスモード) (ローカルモード) (マニュアルモード)





初期設定はディスタンスモードに設定されています。

- ・ディスタンスモードのとき  
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
- ・ローカルモードのとき  
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
- ・マニュアルモードのとき  
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)

4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。  
押し続けると連続で周波数が切りかわる。

5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量を調整する。

---dB(MIN)~00dB (MAX)

モノラル受信に切りかえる  
ノイズが多くFMステレオ放送が聴きにくいときは、モノラル受信に切りかえると、聴きやすくなります。(AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。)



- 1 「F」を押して、ファンクションモードにする。「FUNCTIONインジケーター」が点灯する。
- 2 5秒以内に「MONO」を押して、MONO ONにする。
- 3 解除するには、5秒以内に再度「MONO」を押す。  
ファンクションモードは、5秒間操作を行わないと解除されます。

## チェンジャーでCD (MD) を聴く

1 「SOURCE」を押して、CHANGERモードにする。

→ TUNER → MD → CD → CHANGER →  
(チェンジャー接続時のみ)

2 「F」を押して、ディスク選択モードを選ぶ。

→ ディスク選択モード → ディスク選択モード → M.I.X./REPEAT  
(ディスク1~6) (ディスク7~12) /SCANなど  
12連奏チェンジャー 機能呼び出し  
接続時のみ モード

12連奏チェンジャー (CHA-1214/CHA-1204)は現在販売されていません。

3 ディスクNo.を選ぶときは、「1」~「6」のいずれかを押す。

ディスク選択モード(ディスク1~6) :

「1」~「6」はディスクNo.1~6に相当する。

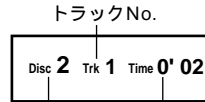
ディスク選択モード(ディスク7~12) :

「1」~「6」はディスクNo.7~12に相当する。

4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲(トラックNo.)を選ぶ。

<ディスプレイ表示例>

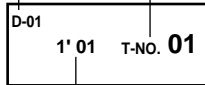
MDA-W988J



ディスクNo. 演奏経過時間

MDA-W966J

ディスクNo. トラックNo.



演奏経過時間

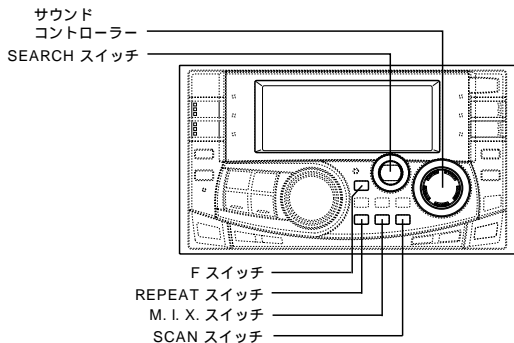
5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量を調整する。

---dB(MIN)~00dB (MAX)

6 演奏を一時停止するときは、「▶/■」を押す。  
再度「▶/■」を押すと、演奏が再開する。



曲の早送り/早戻しをするには、「◀◀」または「▶▶」を押し続けます。  
MD/CD/チェンジャーモード時に「BAND」を押すとディスクモードが切りかわります。  
Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、チェンジャーなど2台の製品を接続している場合は、「BAND」を押して製品を選びます。



## MD/CD/チェンジャー操作

MP3の操作については、「MP3操作」(11ページ~13ページ)を参照してください。

チェンジャー操作のとき、  
曲のイントロだけを聴く / 曲順を変えて聴く /  
繰り返し聴く



上記機能をお使いの場合は、「F」を押して、  
M.I.X./REPEAT/SCAN操作モードにしてから、  
5秒以内に各操作手順で行ってください。

### 曲のイントロだけを聴くSCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探することができます。

- 1 「SCAN」を押す。  
次の曲から順に、曲の初め(イントロ)だけが約10秒間ずつ演奏される。
- 2 聴きたい曲が見つかったら再度「SCAN」を押す。  
その曲の演奏を続ける。



M.I.X.演奏中、またはREPEAT演奏中に  
SCANモードにすると、M.I.X.、または  
REPEATモードは解除されます。  
チェンジャーモード時  
RPT ALL演奏中にSCANモードにすれば、そ  
のディスク内でのSCANモードになります。

### 曲順を変えて聴くM.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「M.I.X.」を押して、M.I.X.モードをONにする。  
順不同に曲を演奏する。



- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。

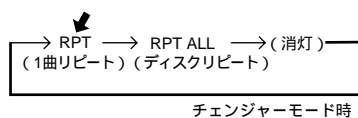


REPEAT演奏中、またはSCAN演奏中に  
M.I.X.モードをONにすると、REPEAT、また  
はSCANモードは解除されます。  
チェンジャーモード時  
・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順  
不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動  
していきます。  
・「M.I.X. ALL」を指定すれば、1曲ずつデ  
ィスクを変えながら演奏します。(M.I.X.  
ALL対応チェンジャーのみ)  
・RPT ALL演奏中に「M.I.X.」を指定すれば、  
そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。

### 繰り返し聴くREPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができ  
ます。

- 1 演奏中に「REPEAT」を押して、REPEATモードを  
ONにする。  
選んだ曲を繰り返し演奏する。



- 2 解除するには、再度「REPEAT」を押す。



SCAN演奏中、またはM.I.X.演奏中に  
REPEATモードをONにすると、SCAN、また  
はM.I.X.モードは解除されます。  
チェンジャーモード時  
・「RPT ALL」を指定すれば、そのディス  
クを繰り返し演奏させることができま  
す。  
・M.I.X.演奏中にREPEATモードをONにす  
ると、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。

### クイックサーチ

素早く簡単に曲(トラック)を選択することができます。

- 1 「サウンドコントローラー」を回転させて、希望の曲  
(トラックNo.)を選ぶ。

### CDテキスト/MDタイトルから探す

本機に挿入したCD/MDのCDテキスト/MDタイトルから  
曲(トラック)を検索し演奏させることができます。(チェ  
ンジャー内のディスクではできません。)

- 1 演奏中に「SEARCH」を押す。
- 2 「サウンドコントローラー」を回転させて、演奏させたい  
曲を選ぶ。
- 3 「サウンドコントローラー」を押す。  
選んだ曲を演奏する。

## MP3再生データの設定

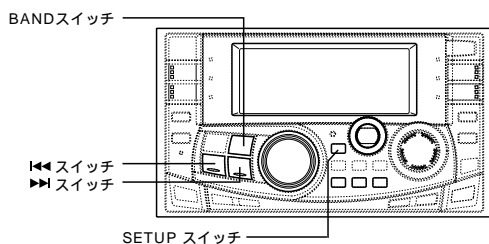
オーディオデータ (CD-DA) のみを再生するか、オーディオデータとMP3の両方とも再生するか (CD-DA&MP3) を設定することができます。  
(オーディオデータとMP3データ混在ディスク使用時)

この設定は、ディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されている場合は、1度ディスクを取り出してから設定を行ってください。(MP3対応チェンジャーの場合は、ディスクチェンジを行ってください)

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、DISC PLAY (PLAY)モードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押してDISC選曲範囲を設定する。

**CD-DA ↔ CD-DA&MP3**  
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常モードに戻る。



## MP3操作

本機内蔵のプレーヤーでMP3再生が行えます。

### MP3選曲範囲の設定

MP3の選曲範囲を「ディスク全てを対象にするか」、「フォルダ内のみを対象にするか」を設定することができます。MP3対応チェンジャーの場合は、SCAN/M.I.X./REPEAT演奏時の選曲範囲設定となります。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、MP3 (選曲範囲) モードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押してDISC選曲範囲を設定する。

**DISC ALL ↔ FOLDER ONLY**  
(工場出荷時の設定)

DISC ALL :

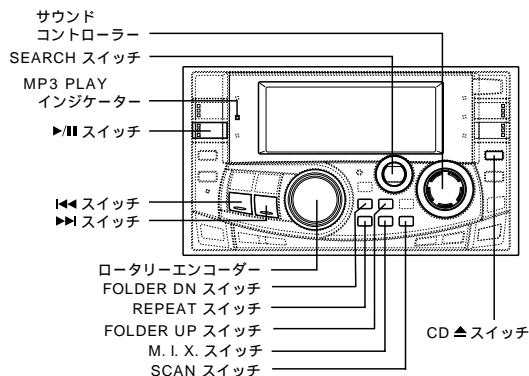
ディスク内の全ての曲を対象に演奏する。

FOLDER ONLY :

選択した (再生している) フォルダ内のみを曲を対象に演奏する。

・MP3対応チェンジャーの場合、RPT ALL (13ページ参照) と組み合わせることで、フォルダ内のみを曲を対象に演奏する。

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常モードに戻る。

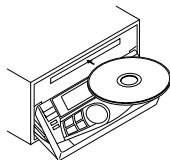


## MP3を聴く

本機で再生できるMP3は、ISO9660 level1またはlevel2フォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「MP3について」(45ページ)を参照してください。

- 1 「CD ▲」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 MP3ファイルが収録されたディスクを挿入する。ディスプレイが閉まり、MP3ファイルを検索し、演奏がはじまる。  
MP3のディスクは、演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。  
MP3ファイル再生時は、「MP3 PLAYインジケーター」が点灯する。

<挿入時の注意>  
ラベル面を上にする。



**Memo** すでにディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、CDモードにすると演奏がはじまります。

→ TUNER → MD → CD → CHANGER  
(チェンジャー接続時のみ)

- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量を調整する。  
---dB(MIN)~00dB(MAX)
- 4 「◀/■」または「▶/■」を押して、聴きたい曲(ファイル)を選ぶ。  
演奏中の曲の頭出し...「◀/■」を押す。  
早戻し.....「◀/■」を押し続ける。  
次の曲の頭出し.....「▶/■」を押す。  
早送り.....「▶/■」を押し続ける。

- 5 演奏を一時停止するときは、「▶/■」を押す。再度「▶/■」を押すと、演奏が再開する。
- 6 ディスクを取り出すときは、「CD ▲」を押す。ディスクは必ず取り出す。
- 7 開いたディスプレイを戻すには「CD ▲」を押す。

**Memo** MP3の演奏時に「TITLE」を押すと、ファイル名、フォルダ名、ID3タグなどを表示させることができます。詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(24ページ)を参照してください。本機はオーディオデータとMP3データが混在するディスクでも再生が可能です。CDオーディオデータ再生時のトラック表示は、ディスクに記憶されているトラック番号になります。

## フォルダを選択する

- 1 「FOLDER DN」または「FOLDER UP」を押して、前後のフォルダを選ぶ。

**Memo** MP3対応チェンジャー操作の時は、「F」を押してから、5秒以内に操作してください。

## ファイルサーチ

ディスク内全てのファイルを検索し演奏させることができます。

- 1 MP3演奏中に「SEARCH」を押す。ファイルサーチモードになる。
- 2 「サウンドコントローラー」を回転させて、演奏させたいファイルを選ぶ。
- 3 「サウンドコントローラー」を押す。ファイルサーチモードが解除され、選んだファイルを演奏する。

フォルダNo.、ファイルNo.表示について  
フォルダNo.、ファイルNo.は次のように表示されます。

MDA-W988J

◻ 19 ◻ 20

↑  
ファイルNo.表示  
↑  
フォルダNo.表示

MDA-W966J

◻ 04 ◻ 01

↑  
フォルダNo.表示  
↑  
ファイルNo.表示



チェンジャーモードのとき、  
曲のイントロだけを聴く / 繰り返し聴く /  
曲順を変えて聴く  
上記機能をお使いの場合は、「F」を押してから、  
5秒以内に各操作手順で行ってください。



## 曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「SCAN」を押す。  
曲が約10秒間ずつ演奏される。
- 2 聴きたい曲が見つかったら再度「SCAN」を押す。  
その曲の演奏を続ける。



「MP3選曲範囲の設定」でFOLDER に設定している場合は、選んでいるフォルダ内の曲のみをSCANします。

## 曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「M.I.X.」を押す。  
順不同に曲を演奏する。

M.I.X. <=> (消灯)

- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。



チェンジャーモード時  
・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。  
・M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。  
「MP3選曲範囲の設定」でFOLDER に設定している場合、選んでいるフォルダ内のみを対象にM.I.X.演奏します。  
MP3のディスクでは、M.I.X.演奏中の曲の頭出しなど、動作に時間がかかる場合があります。

## 繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「REPEAT」を押す。  
選んだ曲を繰り返し演奏する。

→ RPT → RPT ALL → (消灯)  
(1曲リピート)(ディスクリピート)  
(チェンジャーモード時)

- 2 解除するには、再度「REPEAT」を押す。



### Memo

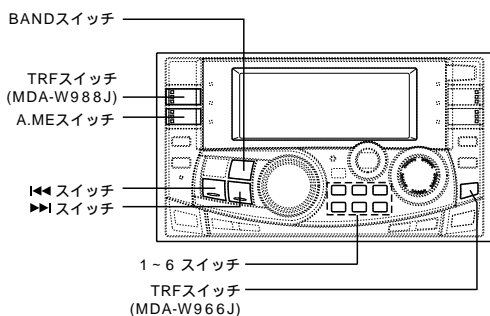
チェンジャーモード時

- ・「RPT ALL」を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
- ・M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。
- ・「MP3選曲範囲の設定」でFOLDER に設定している場合のRPT ALLは、フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏されます。

## クイックサーチ

素早く簡単に曲(ファイル)を選択することができます。

- 1 「サウンドコントローラー」を回転させて、希望の曲(ファイルNo.)を選ぶ。



## ラジオ操作

### 放送局を記憶する

- 1 「ラジオを聴く」(8ページ)を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。
- 2 「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。押されたNo.に、放送局が記憶される。

<表示例>

MDA-W988J

FM1 Pre1 81.3MHz

MDA-W966J

FM1 PRE-1 81.3MHz



放送局は18局まで記憶できます。  
FM1...6局 FM2...6局 AM...6局  
すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

### 自動的に放送局を記憶する (AUTO MEMORY)

- 1 「BAND」を押して受信したいバンドを表示させる。  
→FM1→FM2→AM←
- 2 「A.ME」を2秒以上押す。  
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」～「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。



放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

### 記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。  
→FM1→FM2→AM←
- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。  
選択した放送局が受信される。

### 道路交通情報を受信するTRF (トラフィックインフォメーション)

MDA-W988J

- 1 「TRF」を2秒以上押す。  
TRFモードになり、AM放送の1620KHz、または1629KHzの交通情報を受信する。
- 2 「<<<」または「>>>」を押して、1620KHz/1629KHzを切りかえる。
- 3 解除するには、再度「TRF」を2秒以上押す。

MDA-W966J

- 1 「TRF」を押す。  
TRFモードになり、AM放送の1620KHz、または1629KHzの交通情報を受信する。
- 2 「<<<」または「>>>」を押して、1620KHz/1629KHzを切りかえる。
- 3 解除するには、再度「TRF」を押す。



CD、MD、チェンジャー、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。

## MXモードの設定

MX (Media Xpander) は、ラジオ/CD/MP3など音楽ソースごとにボーカルや各楽器の音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

- 1 「MX」を押して、MEDIA XPANDER ONモードを選ぶ。

▼  
MEDIA XPANDER ON ↔ MEDIA XPANDER OFF

- 2 「MX」を2秒以上押して、MEDIA XPANDER選択モードを呼び出す。

- 3 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて好みのモードを選ぶ。

- ・OFFを選ぶとMXの効果がOFFになる。
- ・現在選んでいる音楽ソース(ラジオ/CDなど)についてのレベルを調整できる。

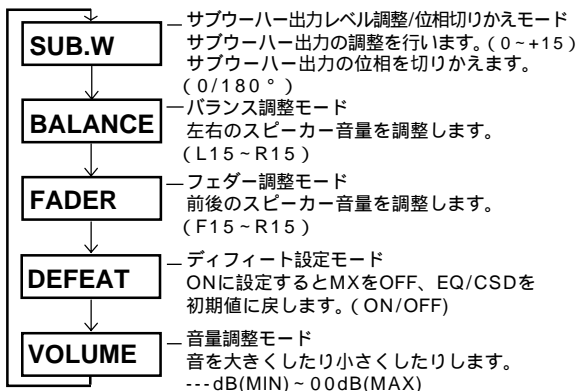
- FM: MX1 ~ 3, OFF  
こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。
- CD: MX1 ~ 3, OFF  
情報量豊富なCD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。
- MP3/MD: MX1 ~ 3, OFF  
圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。
- DVD/Video CD: MX1 ~ 3, OFF  
MX1 ~ 2(MOVIE):映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。  
MX3(MUSIC):ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生する。
- AUX: MX1 ~ 3, OFF  
接続するメディアに対応したMXモード(MP3,MUSIC,MOVIE)が選べる。

- 4 設定が終了したら「ロータリーエンコーダー」を押す。通常モードに戻る。

## サウンド調整

### 音量/バランス/フェダー/ディフィートの調整

- 1 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を押して調整したいモードを選ぶ。



- 2 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、好みのレベルに調整または設定する。



3WAY/2WAY切りかえスイッチ(38ページ参照)を「3WAY」に設定している場合、フェダー調整はできません。SUB.W(サブウーハー)が「OFF」に設定されている場合は、SUB.Wの調整は行えません。(31ページ参照)

サブウーハーの位相切りかえは、SUB.Wを選んだ後、「◀◀」または「▶▶」を押して切りかえます。お好みの音が見られる方を選んでください。

音量調整はモードを選択していなくても調整ができます。

モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。

使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。

製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。

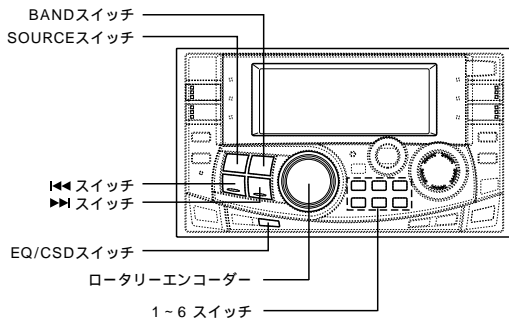


ディフィートの設定がONのときは、操作を受け付けません。

ラジオ/CD/MP3などの各音楽ソースごとに設定することができます。

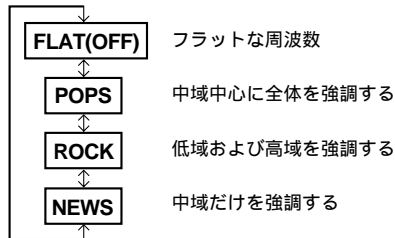
MP3/CD-DA混在ディスク再生時「MP3 CD-DA」、「CD-DA MP3」に曲が切りかわったときは、MXモードの切りかえ処理のため、曲の演奏までに多少時間がかかることがあります。

手順1の操作で、MX(MEDIA XPANDER)OFFに設定すると全ての音楽ソースが「MX OFF」となります。



## イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ

- 1 「EQ」を押してMAKER'S EQモードにする。  
照光部の一部がオレンジ色になる。
- 2 15秒以内に「◀」または「▶」を押す。  
好みのイコライザー特性を選ぶ。



### ダイレクト呼び出しで選ぶ

呼び出したいスイッチ「1」～「4」のいずれかを押す。  
 「1」：FLAT(OFF)      「3」：ROCK  
 「2」：POPS          「4」：NEWS

- 3 設定後、「EQ」を押して通常モードに戻す。



ディフオート（15ページ）がONの時は、操作を受け付けません。

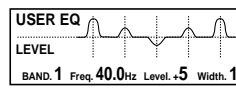
### MDA-W988Jのみ

## パラメトリックEQの調整と記憶/呼び出し

グラフィックEQでは隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリックEQは、中心周波数、Q（帯域幅）レベルをそれぞれ任意に調整可能ですので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うにはこのパラメトリックEQが有効なのです。

「周波数帯域と音質について」（47ページ）も調整の際の参考にしてください。

- 1 「EQ」を押してMAKER'S EQモードにする。  
照光部の一部がオレンジ色になる。
- 2 15秒以内に「EQ」を2秒以上押して、パラメトリックEQ(USER EQ)モードにする。
- 3 15秒以内に「BAND」を押して、BANDを選ぶ。  
 → BAND.1 → BAND.2 → BAND.3  
 BAND.5 ← BAND.4 ←
- 4 15秒以内に「◀」または「▶」を押して、周波数を選ぶ。
- 5 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整する。
- 6 15秒以内に「SOURCE」を押して、バンド幅（Q）を設定する。
- 7 さらに別のバンドを調整するには、上記手順3～6を繰り返し、すべてのバンドを調整する。



<表示例>

- 8 調整が終了したら、「ロータリーエンコーダー」または「EQ」を押す。

### 調整内容を記憶させるには

- 1 調整モード中に「1」～「6」のいずれか1つを2秒以上押し、調整した内容を記憶させる。



Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

### 記憶した調整内容を呼び出すには

- 1 「EQ」を押してMAKER'S EQモードにする。  
照光部の一部がオレンジ色になる。
- 2 15秒以内に「EQ」を2秒以上押して、パラメトリックEQ(USER EQ)にする。
- 3 15秒以内に「1」～「6」のいずれかを押し、記憶した調整内容を呼び出す。



調整途中で終了させるときは、「EQ」を押してください。  
隣り合うバンドの周波数は3ステップ以内に調整することはできません。  
200Hz以下に設定できるバンドは3つまでです。  
ディフオート（15ページ）がONの時は、操作を受け付けません。  
調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。



## MDA-W966Jのみ

### グラフィックEQの調整と記憶/呼び出し

「周波数帯域と音質について」(47ページ)も調整の際の参考にしてください。

- 「EQ」を押してMAKER'S EQモードにする。  
照光部の一部がオレンジ色になる。
- 15秒以内に「EQ」を2秒以上押して、グラフィックEQ(USER EQ)モードにする。
- 15秒以内「◀◀」または「▶▶」を押して、周波数を選ぶ。
- 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整する。
- さらに別の周波数帯を調整するには手順3、4を繰り返して調整を行う。
- 調整が終了したら「ロータリーエンコーダー」または「EQ」を押す。

#### 調整内容を記憶させるには

- 調整モード中に「1」～「6」のいずれか1つを2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。



Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

#### 記憶した調整内容を呼び出すには

- 「EQ」を押してMAKER'S EQモードにする。  
照光部の一部がオレンジ色になる。
- 15秒以内に「EQ」を2秒以上押して、グラフィックEQ(USER EQ)モードにする。
- 15秒以内に「1」～「6」のいずれかを押して、記憶した調整内容を呼び出す。



ディフュート(15ページ)がONの時は、操作を受け付けません。  
調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。

### カスタマイズサウンドデータベースを使う (Customized Sound Database)

本機にはカスタマイズサウンドデータベースが搭載されています。

約250車種(2DINサイズ装着可能車のみ)の中から使用車種を選び自分の車に最適な音響を再現することができます。更に使用フロントスピーカーの口径やツイーター、サブウーハーの有無、シート材質(車の仕様がわからない場合はディーラーなどにお問い合わせください。)を設定することで車室内の細かな音響の調整ができ、お客様の使用環境に合わせた最適な音響空間を再現することができます。

車種データベースについては、48ページの車種一覧を参照してください。

- 「CSD」を2秒以上押す。  
照光部の一部がオレンジ色になる。
- 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、車種の頭文字を選び、「ロータリーエンコーダー」を押して決定する。
- 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、自分の車種を選び、「ロータリーエンコーダー」を押して決定する。(48ページの車種一覧を参考にする。)本機には約250車種のデータベースが搭載されている。データベースに、該当する車種がない場合は、48ページからの車種一覧を参考に「RV」や「SEDAN」または、「KEI CAR(軽自動車)」などの車種タイプを選ぶ。
- 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、フロントスピーカーの種類を選び、「ロータリーエンコーダー」を押してスピーカーを決定する。

⇒ 10cm ⇄ 13cm ⇄ 16cm ⇄ DDDrive 13cm ⇄ DDDrive 16cm ⇄  
(DDDriiveはアルパイン製品です。)

- 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、セパレートツイーターの有無を選択し、「ロータリーエンコーダー」を押して決定する。

○ ←→ ×  
(セパレートツイーター有り) (セパレートツイーター無し)  
ツイーター(高音域用のスピーカー)が  
車に装備されている場合

- 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、サブウーハーの有無を選択し、「ロータリーエンコーダー」を押して決定する。

○ ←→ ×  
(サブウーハー有り) (サブウーハー無し)

- 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、シートの材質を選び、「ロータリーエンコーダー」を押して決定する。

LEATHER ⇄ CLOTH  
(皮) (布)

- すべての設定が終了したら、「ロータリーエンコーダー」を回転させて、「O.K.」を選び、「ロータリーエンコーダー」を押して決定する。

O.K.:

設定した内容で、車室内の音響空間の自動設定を行う。

CANCEL:

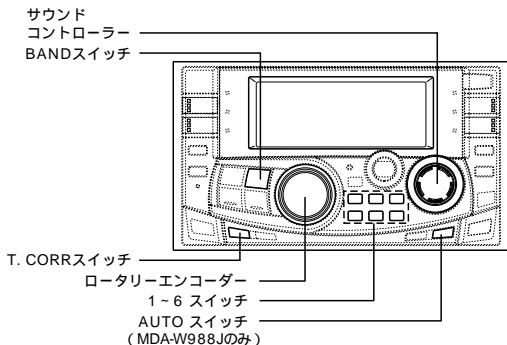
一つ前の状態へ戻る。

更に前に戻るには、「◀◀」を押す。次の設定へは

「▶▶」を押す。



設定途中で設定を解除するには、「CSD」を2秒以上押します。  
ディフュート(15ページ)がONの時は、操作を受け付けません。  
カスタマイズサウンドデータベースを設定後、「CSD」を2秒以上押すと設定が解除されます。再度設定するには、上記手順にて設定してください。



## MDA-W988Jのみ

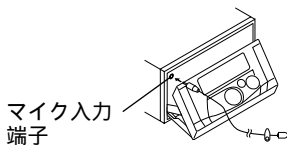
### 自動的に時間補正を行う (Auto Time Correction)

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。本機は付属の測定用マイクで自動的に計測、分析して最適な時間補正を行います。

- 1 準備する。
  - 1) 車を騒音のない静かな場所に停車させる。
  - 2) 車のドア、窓などを閉める。
- 2 マイクを取り付ける。
  - 1) 運転席のヘッドレスト中央に付属のマイクを上向きにして固定する。固定するには、ひもやベルトなどを利用する。



- 2) ディスプレイ角度を調整してマイクの入力端子を見える状態にする。ディスプレイ角度の調整は6ページを参照。「MD ▲」を押して、ディスプレイが開き切った状態では、取り付けない。
- 3) マイク入力端子に接続する。

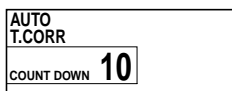


- 3 車のエンジンキーをACCのポジションにする。
 

振動により、適切な調整値が得られない場合があるのでエンジンはかけない。

騒音により自動設定が行えない場合があるので、エアコンやヒーターがONになっているときはすべてOFFにする。

- 4 「AUTO」を押す。  
マイクを接続していない場合は、自動測定できません。
- 5 15秒以内に「サウンドコントローラー」を回転させて、T.CRモードを選び、「サウンドコントローラー」を押す。カウントダウンが始まり、現在の動作（ラジオやCD）を停止する。
- 6 カウントダウンが始まったら、10秒以内に車外に出てドアを閉める。



- 7 カウントダウンが終わると、自動測定モードとなる。

約10秒間、自動測定を行う。  
自動測定中（約10秒間）は、ドアを開けない。

自動測定が終了する。  
測定内容は、「手動による時間補正の調整と記憶/呼び出し」(19ページ)でのPreset1（スイッチ1）に記憶される。

- 8 車内に戻り、「手動による時間補正の調整と記憶/呼び出し」(19ページ)を参照して、Preset1を呼び出し自動測定されているか（数値が変化しているか）確認する。自動測定に失敗した（数値が変わっていない）場合は、マイクの位置を変えて再度自動測定を行ってください。

Preset1に既に時間補正値が記憶されている場合  
「手動による時間補正の調整と記憶/呼び出し」(19ページ)を参照して、Preset1の値をすべて「0.0」に戻してから行くと、自動測定が正しく行われたかどうか確認し易くなります。



- 9 マイクを取り外す。

#### Memo

マイクを接続していない場合は、自動測定はできません。自動的に時間補正を行う場合は必ず付属のマイクを接続してから行ってください。測定中はすべての操作は無効になります。マイクを取り付ける位置によって測定内容は異なります。自動測定は何回でも行えますが、記憶はPreset1（スイッチ1）のみですので、前回の測定内容は解除されます。スピーカーなどが故障している場合または、スピーカーなどの接続・配線が正しくない場合は、自動測定できないことがあります。それぞれのスピーカーなどを確認後、再度自動調整を行ってください。マイクを接続した状態ではディスプレイは閉じることができません。使用後は、必ずマイクを取り外してください。エンジンをかけない状態で長時間使用するとバッテリー上がりの恐れがありますので、ご注意ください。AUTO TIME CORRECTIONは2ch（フロントL/Rのみ、またはリアL/Rのみ）のスピーカー接続でも時間補正を行います。サブウーハーは自動測定できません。手動で設定してください。「手動による時間補正の調整と記憶/呼び出し」(19ページ)を参照。

## 手動による時間補正の調整と記憶/呼び出し

操作の前に、「タイムコレクション（時間補正）について」を参照してください。

- 1 「T.CORR」を押して、タイムコレクション調整モードにする。  
照光部の一部がオレンジ色になる。
- 2 15秒以内に「BAND」を押して、調整するスピーカーを選ぶ。  
→ FL → FR → RL → RR → SWL → SWR →
- 3 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、時間補正值（0.0～9.9）を調整する。
- 4 さらに別のスピーカーを調整するには、上記手順2～3を繰り返す。
- 5 調整が終了したら、「ロータリーエンコーダー」または「T.CORR」を押す。  
調整モードが解除され、通常モードに戻る。



タイムコレクション（時間補正）での調整値は、Bass Focusモードにも反映されます。

### 調整内容を記憶させるには

- 1 調整モード中に「1」～「6」のいずれかが1つを2秒以上押し、調整した内容を記憶させる。



Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

### 記憶した時間補正值を呼び出すには

- 1 「T.CORR」を押して、タイムコレクション調整モードにする。  
照光部の一部がオレンジ色になる。
- 2 15秒以内に「1」～「6」のいずれかを押し、記憶した調整内容を呼び出す。

## タイムコレクション（時間補正）について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばつぎがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正值の算出方法について説明します。

- 1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。
- 2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。  
 $L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$
- 3 スピーカーごとに算出した距離を音速（343m/s 気温20）で割る。  
その値が各スピーカーの時間補正值となる。

### 具体例

1. 下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正值を算出する。

（条件）：

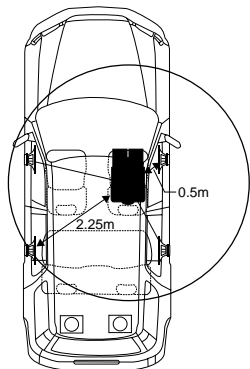
一番遠いスピーカー～リスニングポジション：2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション：0.5m

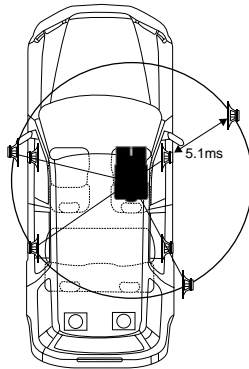
（算出）： $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 =  $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

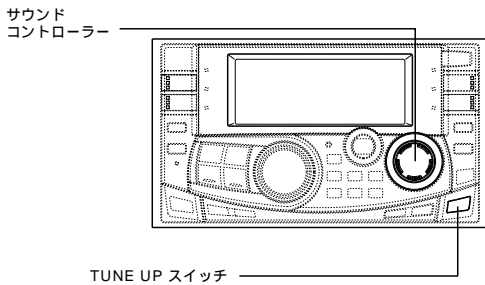
つまり、フロント右側スピーカーの時間補正值に5.1（ms）を与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



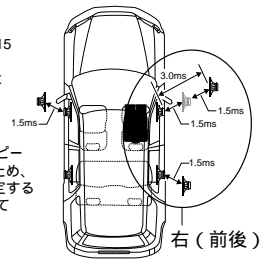
リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。



(2) 右(前後)スピーカーをSTEP15に設定。時間差は右前スピーカーは3.0ms\*、右後スピーカーは1.5msとなる。



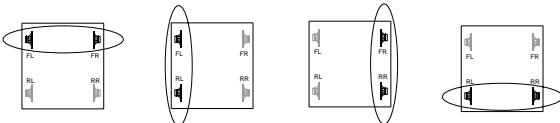
\* (1)の調整で、すでに右前スピーカーは1.5msに設定されているため、右側スピーカーをSTEP15に設定すると、右前スピーカーは加算されて3.0msとなる。

## Bass Focusの設定

音像の定位を移動させる機能。前後/左右同時に時間差を設定でき、感覚的に時間補正を調整することができます。ステップは、0.1ms間隔で0~99ステップ用意しています。

- 1 「TUNE UP」を押して、BASS ENGINE設定モードにする。
- 2 15秒以内に「サウンドコントローラー」を回転させて、FOCUSモードを選び、「サウンドコントローラー」を押す。
- 3 15秒以内に「サウンドコントローラー」を押して、前後/左右のスピーカーを選ぶ。

→前(左右)スピーカー → 左(前後)スピーカー → 右(前後)スピーカー → 後(左右)スピーカー



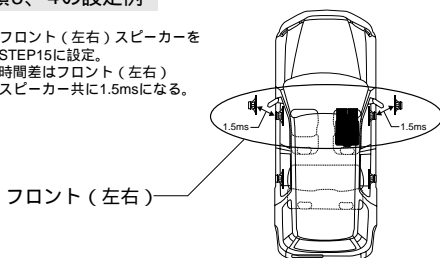
- 4 15秒以内に「サウンドコントローラー」を回転させて、前後/左右のステップを設定する。
- 5 さらに別のチャンネル(スピーカー)を設定するには、手順3~4を繰り返す。
- 6 設定が済んだら「TUNE UP」を2回押して、通常モードに戻す。



Bass Focusでの設定は、タイムコレクション(時間補正)にも反映されます。

### 手順3、4の設定例

- (1) フロント(左右)スピーカーをSTEP15に設定。時間差はフロント(左右)スピーカー共に1.5msになる。



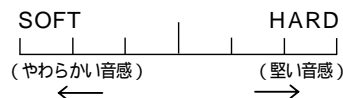
## 時間差表

STEP数	時間差(ms)	STEP数	時間差(ms)	STEP数	時間差(ms)
0	0.0	34	3.4	68	6.8
1	0.1	35	3.5	69	6.9
2	0.2	36	3.6	70	7.0
3	0.3	37	3.7	71	7.1
4	0.4	38	3.8	72	7.2
5	0.5	39	3.9	73	7.3
6	0.6	40	4.0	74	7.4
7	0.7	41	4.1	75	7.5
8	0.8	42	4.2	76	7.6
9	0.9	43	4.3	77	7.7
10	1.0	44	4.4	78	7.8
11	1.1	45	4.5	79	7.9
12	1.2	46	4.6	80	8.0
13	1.3	47	4.7	81	8.1
14	1.4	48	4.8	82	8.2
15	1.5	49	4.9	83	8.3
16	1.6	50	5.0	84	8.4
17	1.7	51	5.1	85	8.5
18	1.8	52	5.2	86	8.6
19	1.9	53	5.3	87	8.7
20	2.0	54	5.4	88	8.8
21	2.1	55	5.5	89	8.9
22	2.2	56	5.6	90	9.0
23	2.3	57	5.7	91	9.1
24	2.4	58	5.8	92	9.2
25	2.5	59	5.9	93	9.3
26	2.6	60	6.0	94	9.4
27	2.7	61	6.1	95	9.5
28	2.8	62	6.2	96	9.6
29	2.9	63	6.3	97	9.7
30	3.0	64	6.4	98	9.8
31	3.1	65	6.5	99	9.9
32	3.2	66	6.6		
33	3.3	67	6.7		

## Bass Hardnessの設定

低音調整の中でもより低音のメリハリを調整する機能。HARD(堅い音感)からSOFT(やわらかい音感)まで7段階で調整することができます。

- 1 「TUNE UP」を押す。
- 2 15秒以内に「サウンドコントローラー」を回転させて、HARDNESSモードを選び、「サウンドコントローラー」を押す。
- 3 15秒以内に「サウンドコントローラー」を回転させてお好みに設定し、「サウンドコントローラー」を押して決定する。

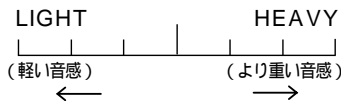


## Bass Dynamicsの設定

低音調整の中でもより低音を際立たせる機能。HEAVY（より重い音感）からLIGHT（軽い音感）まで7段階で調整することができます。

- 1 「TUNE UP」を押す。
- 2 15秒以内に「サウンドコントローラー」を回転させて、DYNAMICSモードを選び、「サウンドコントローラー」を押す。

- 3 15秒以内に「サウンドコントローラー」を回転させてお好みに設定し、「サウンドコントローラー」を押して決定する。



## X-OVERとは

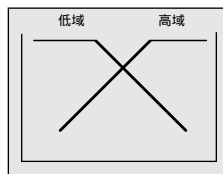
本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドのHPF（ハイパスフィルター）LPF（ローパスフィルター）の調整、スロープ（フィルター特性の減衰の傾き）、レベルを設定します。

接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

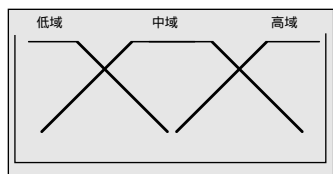
また、「知っておきたい豆知識」（46ページ）も合わせてご覧ください。

2Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
リアハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB
フロントハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB

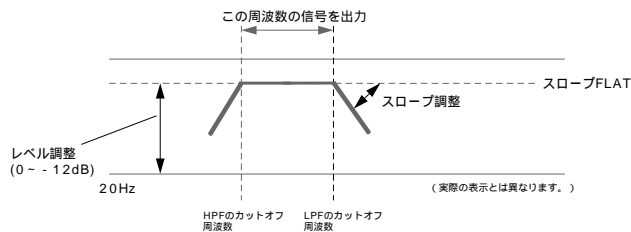


(実際の表示とは異なります。)

3Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ミッドレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	20Hz ~ 20kHz	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ハイレンジ スピーカー	1kHz ~ 20kHz	—	6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



(実際の表示とは異なります。)



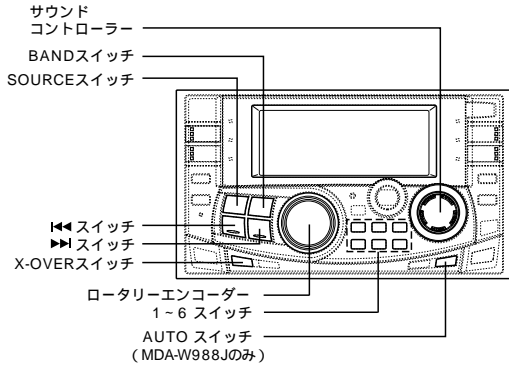
(実際の表示とは異なります。)

### Memo

HPF（ハイパスフィルター）はある周波数より下の音域（低域）をカットして、高域の成分を通すフィルターです。  
LPF（ローパスフィルター）はある周波数より上の音域（高域）をカットして、低域の成分を通すフィルターです。

### Memo

スロープとは周波数が1オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何dB減衰するかを表す値です。  
スロープの数値が大きいかほど傾きは急になります。  
スロープをFLATにすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。  
ツイーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。  
同じチャンネル内でHPFとLPFの周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPFとLPFの周波数を超える調整はできません。



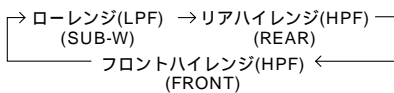
## X-OVERの調整と記憶/呼び出し

ここでは、X-OVERの調整手順を説明します。操作の前に、「X-OVERとは」(21ページ)や「知っておきたい豆知識」(46ページ)を参照してください。

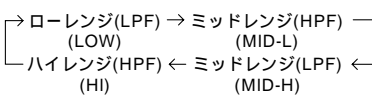
また、MDA-W988Jでは「自動的にスピーカー調整を行う(オートスピーカー)」(23ページ)で調整後、以下の調整をして頂くと便利です。

- 1 「X-OVER」を2秒以上押して、X-OVER調整モードにする。  
照光部の一部がオレンジ色になる。
- 2 15秒以内に「BAND」を押して、調整したいバンドを選ぶ。

### 2Wayシステム



### 3Wayシステム



- 3 15秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押して、希望のカットオフ周波数(クロスオーバーポイント)を選ぶ。

### 2Wayシステム

各チャンネルは20Hz~200Hz(1/3オクターブステップ)の周波数を選択できる。

### 3Wayシステム

ローレンジ(LPF) / ミッドレンジ(HPF)は20Hz~200Hz(1/3オクターブステップ)、  
ミッドレンジ(LPF)は20Hz~20kHz(1/3オクターブステップ)、ハイレンジ(HPF)は1kHz~20kHz(1/3オクターブステップ)の周波数を選択できる。

- 4 15秒以内に「SOURCE」を押して、スロープを調整する。  
スロープは6dB/12dB/18dB/24dB/Flat(OFF)調整が可能。(3Wayモードでのハイレンジ(HPF)は6dB/12dB/18dB/24dB調整が可能)
- 5 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、出力レベルを調整する。  
レベルは-12~0の調整が可能。
- 6 さらに別のバンドを調整するには、手順2~5を繰り返して、すべてのバンドを調整する。
- 7 調整が済んだら、「ロータリーエンコーダー」または「X-OVER」を押して通常モードに戻す。



調整途中で終了させるときは、「X-OVER」を押してください。  
調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。  
2Wayシステムと3Wayシステムについて本機底部の3Way/2Way切りかえスイッチと連動しています。(38ページ参照)



3Way設定時:  
3Wayシステムとして操作可能。  
F/R/Sub-W設定時:  
2Wayシステムとして操作可能。

## 調整内容を記憶させるには

- 1 調整モード中に「1」~「6」のいずれか1つを2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。



Preset「1」~「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

## 記憶したX-OVERの調整値を呼び出すには

- 1 「X-OVER」を2秒以上押して、X-OVER調整モードにする。  
照光部の一部がオレンジ色になる。
- 2 15秒以内に「1」~「6」のいずれかを1つ押して、調整した内容を呼び出す。

MDA-W988Jのみ

## 自動的にスピーカー調整を行う (オートスピーカー)

付属のマイクでX-OVER調整のカットオフ周波数を自動で調整します。以下のバンドのカットオフ周波数のみの調整になりますので、その他の調整は接続するスピーカーにより、「X-OVERの調整と記憶/呼び出し」(22ページ)を参照して行ってください。

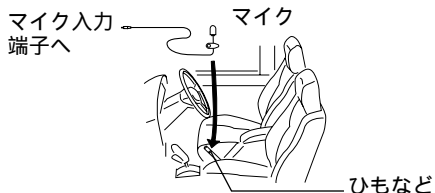
- ・2Wayシステム：リアハイレンジ (HPF)/フロントハイレンジ (HPF)
- ・3Wayシステム：ミッドレンジ (HPF)

### 1 準備する。

- 1) 車を騒音のない静かな場所に停車させる。
- 2) 車のドア、窓などを閉める。

### 2 マイクを取り付ける。

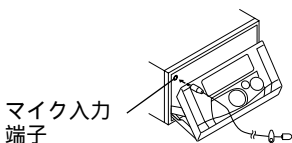
- 1) フロントスピーカーの中央部 (サイドブレーキなどに付属のマイクを上向きにして固定する。固定するには、ひもやベルトなどを利用する。



- 2) ディスプレイ角度を調整してマイクの入力端子が見える状態にする。ディスプレイ角度の調整は6ページを参照。

「MD▲」を押して、ディスプレイが開き切った状態では、取り付けない。

- 3) マイク入力端子に接続する。



### 3 車のエンジンキーをACCのポジションにする。

振動により、適切な調整値が得られない場合があるのでエンジンはかけない。

騒音により自動設定が行えない場合があるので、エアコンやヒーターがONになっているときはすべてOFFにする。

### 4 「AUTO」を押す。

マイクを接続していない場合は、自動測定はできません。

### 5 15秒以内に「サウンドコントローラー」を回転させて、SP TUNEモードを選び、「サウンドコントローラー」を押す。

カウントダウンが始まり、現在の動作 (ラジオやCD) を停止する。

### 6 カウントダウンが始まったら、10秒以内に車外に出てドアを閉める。

AUTO  
SP SETUP  
COUNT  
DOWN 09

### 7 カウントダウンが終わると、自動測定モードとなる。

約1分間、自動測定を行う。

自動測定中 (約1分間) は、ドアを開けない。

自動測定が終了する。

測定内容は、「X-OVERの調整と記憶/呼び出し」(22ページ)でのPreset1 (スイッチ1) に記憶される。

### 8 車内に戻り、「X-OVERの調整と記憶/呼び出し」(22ページ)を参照して、Preset1を呼び出し自動測定されているか (数値が変化しているか) 確認する。

自動測定に失敗した (数値が変わっていない) 場合は、マイクの位置を変えて (フロントスピーカーの中央部でサイドブレーキよりやや前方などに) 再度自動測定を行ってください。

Preset1に既に調整値が記憶されている場合

「X-OVERの調整と記憶/呼び出し」(22ページ)を参照して、Preset1の値をメモとして控えてから行くと、自動測定が正しく行われたかどうか確認し易くなります。



### 9 マイクを取り外す。



マイクを接続していない場合は、自動測定できません。自動的にスピーカー調整を行う場合は必ず付属のマイクを接続してから行ってください。

測定中はすべての操作は無効になります。

マイクを取り付ける位置によって測定内容は異なります。

自動測定は何回でも行えますが、記憶はPreset1 (スイッチ1) のみですので、前回の測定内容は解除されます。

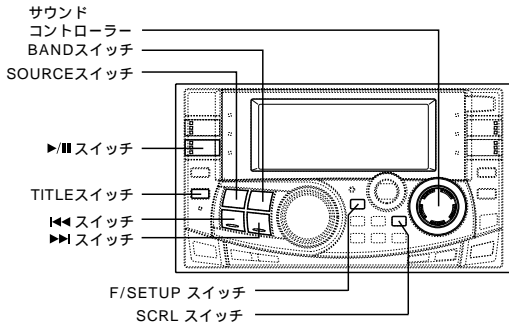
スピーカーなどが故障している場合または、スピーカーなどの接続・配線が正しくない場合は、自動測定できないことがあります。それぞれのスピーカーなどを確認後、再度自動測定を行ってください。

マイクを接続した状態ではディスプレイは閉じることができません。使用後は、必ずマイクを取り外してください。

エンジンをかけない状態で長時間使用するとバッテリー上がりの恐れがありますので、ご注意ください。

オートスピーカーは2ch (フロントL/Rのみ、またはリアL/Rのみ) のスピーカー接続でも自動測定を行います。

LPFは自動測定できません。手動で設定してください。「X-OVERの調整と記憶/呼び出し」(22ページ)を参照。



## タイトル/テキスト操作

### タイトル/テキスト/スクロールとは

この説明書で使用する「タイトル」、「テキスト」、「スクロール」という言葉の違いについて説明します。

#### タイトルとは

文字の入力と表示ができることを言います。本機の場合は「CD」や「ラジオ放送局」の名称をタイトルとしてつけることができます。「MD」には、文字入力ではできませんが、本機以外の製品で入力した文字を表示することができます。製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。

#### テキストとは

あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

#### タイトル/テキスト入力表示一覧

	MDA-W988J		MDA-W966J	
	入力	表示	入力	表示
タイトル	MD	x	1	x
	CD	1	1	
テキスト	ラジオ			
	MD	x	x	x
	CD	x	x	2
ラジオ	x	x	x	x
対応文字	英数、記号、カタカナ、ひらがな、漢字		英数、記号、カタカナ(半角)	

・MP3ディスクのタイトル入力/表示は行えません。

#### スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに1回だけスクロールする「マニュアルモード」とスクロールを繰り返す「オートモード」を搭載しています。

「マニュアルモード」のとき、再スクロールを行うには：

- ・CD/MDモードのとき  
1「SCRL」を押す。
- ・チェンジャーモードのとき  
1「F」を押して、ファンクションモードにしてから、5秒以内に「SCRL」を押す。  
12枚チェンジャーの場合は、「F」を2回押してファンクションモードにします。

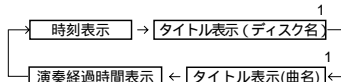


## タイトル/テキストを表示する

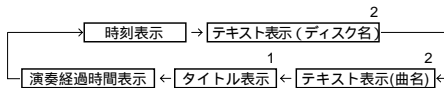
「ラジオ放送局」や「CD」に本機からタイトルを入力すれば、タイトルを表示させることができます。また、CDテキスト対応の音楽CDやMDの演奏中に、ディスク名/トラック名などを表示させることもできます。MP3ファイルを演奏中は、フォルダ名、ファイル名、ID3タグの表示が可能です。

### 1 「TITLE」を押す。

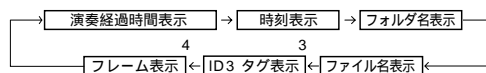
(MD/MDチェンジャーモードのとき)



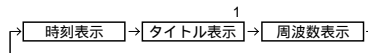
(CD/CDチェンジャーモードのとき)



(MP3モードのとき)



(TUNERモードのとき)



- 1 タイトルが入っていない場合は **NO TITLE** と表示される。
- 2 CDテキストが入っていない場合は **NO TEXT** と表示される。
- 3 MP3ファイルにID3タグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示される。その他の情報は表示されない。ID3タグ情報がない場合は **NO TAG** と表示される。
- 4 MP3ファイル作成時のサンプリングレートとビットレートを表示する。



CDチェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT対応のCDチェンジャーのみです。CD-TEXTに対応していないCDチェンジャーの場合は、「NO TEXT」と表示されます。タイトル/テキスト表示中、演奏経過時間も表示します。グラフィックスクリーンの設定によっては、タイトル/テキストなどを表示させておくことができない場合があります。詳しくは、「グラフィックスクリーンを切りかえる」(26ページ)を参照してください。「ID3タグ」「サンプリングレート」「ビットレート」については45ページの用語説明を参照してください。本機で表示できない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。



## スクロールの設定

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、TEXT SCROLL モードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、スクロールの設定を切りかえる。  
TEXT SCROLL AUTO ↔ TEXT SCROLL MANUAL  
(工場出荷時の設定)
- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。

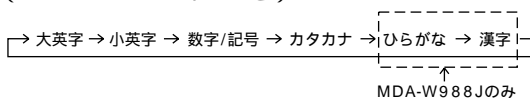


AUTOに設定すると、繰り返しスクロール表示を続けます。

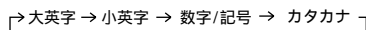
## タイトルをつける

お好みの「ラジオ放送局」や「CD」、「CDチェンジャーのCD」にタイトルをつけることができます。(MP3ディスクにタイトル入力には行えません。)MDA-W966Jでは「カタカナ」「アルファベット」「数字/記号」の入力が可能です。MDA-W988Jでは「ひらがな」「カタカナ」「アルファベット」「数字/記号」「漢字」の入力が可能です。ただし、CDチェンジャー内のディスクには「ひらがな」と「漢字」の入力はできません。(「カタカナ」「アルファベット」「数字/記号」の一部は入力できます。)

- 1 タイトルをつけたいCDまたはラジオ放送局を選ぶ。  
(8~9ページ参照)
- 2 「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。  
詳しくは「タイトル/テキストを表示する」(24ページ)を参照。
- 3 「TITLE」を3秒以上押す。
- 4 10秒以内に「BAND」を押して、文字の種類を選ぶ。  
(TUNER/CDモードのとき)



(チェンジャーモードのとき)



本機では、MDにタイトルを入力することはできません。  
記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されます。  
曲にタイトルをつけることはできません。

- 5 アルファベット/数字/記号/カタカナ/ひらがな入力(ひらがな入力は、MDA-W988Jのみ)
  - ① 10秒以内に「サウンドコントローラー」を回転させて、入力したい文字を選ぶ。  
ページは「◀◀」または「▶▶」で切りかえる。
  - ② 10秒以内に「サウンドコントローラー」を押して、1桁目を確定させる。

## 漢字入力(MDA-W988Jのみ)

- ① 10秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押して、入力したい漢字の読み(音読み)を選ぶ。
- ② 10秒以内に「サウンドコントローラー」を回転させて、入力したい漢字を選ぶ。漢字列は「F」で切りかえる。
- ③ 10秒以内に「サウンドコントローラー」を押して、漢字を選択する。  
タイトルを修正したいとき  
タイトル入力モード中に「SOURCE」を押して、入力したタイトル欄にカーソルを移動する。「サウンドコントローラー」を回して修正したい部分にカーソルを合わせ、再度「SOURCE」を押して、タイトル入力モードに戻して編集する。

- 6 4~5を繰り返し16桁(CDチェンジャーは8桁)まで入力できる。  
16桁未満のときは「TITLE」を押して、タイトル入力を終了させる。

- 7 タイトル表示モードを解除するには、「TITLE」を押して、表示モードを切りかえる。



ラジオ放送局には最大18局(FM/AM合わせて)まで、タイトルをメモリーできます。本機内蔵のCDは最大CD18枚分までタイトルメモリーできます。  
ディスプレイに「FULL DATA」と表示されたときは、不要なタイトルを消してから、入力してください。入力した文字を消すには空白を選び、入力してください。  
CDチェンジャーの場合は機種によってメモリー数が異なります。  
本機では、MP3ファイルに、ファイル名、フォルダ名、ID3タグを入力することはできません。

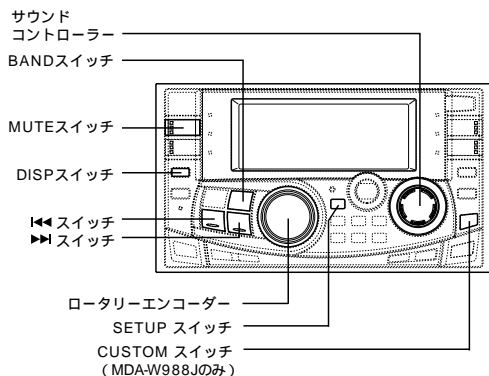
## 記憶したタイトルを消す

本機で入力、記憶したタイトルを消去することができます。

- 1 ラジオ/CD/CDチェンジャーモードのときに、「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。  
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(24ページ)を参照。
- 2 「TITLE」を3秒以上押す。
- 3 10秒以内に「▶■」を2秒以上押す。  
メモリーされたタイトルが点滅する。
- 4 10秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押して消去したいタイトル名を探す。
- 5 10秒以内に「▶■」を2秒以上押す。  
タイトルが消去される。
- 6 タイトル消去モードを解除するには、「TITLE」を押す。



CDテキストを消去することは、できません。



## 便利な機能

### ミュートのON/OFF

- 1 「MUTE」を押す。  
瞬時に音量が下がる。
- 2 解除するには、再度「MUTE」を押す。

### グラフィックスクリーンを切りかえる

- 1 「DISP」を押す。  
グラフィックデザインのパターンの中から好みのパターンを選ぶ。

#### MDA-W988J

No.	表示内容
1	各SOURCEの基本画面
2	各SOURCEの基本画面 + VOLバー表示
3	基本画面表示 + 動画 (動画表示の設定内容)
4	オートボリューム動作表示
5	スペアナ表示1: ノーマル+時系列
6	スペアナ表示2: ミラー1
7	スペアナ表示3: ミラー2
8	スペアナ表示4: ミラー3
9	セーバー表示1
10	セーバー表示2
11	SCANモード



タイトルや時刻を表示させておきたいときは、上記No.1~4を選んでください。また、時刻はどのパターンでも設定できます。

#### MDA-W966J

No.	表示内容
1	各SOURCEの基本画面
2	各SOURCEの基本画面 + VOLバー表示
3	オートボリューム動作表示
4	スペアナ表示1
5	スペアナ表示2
6	スペアナ表示3
7	スペアナ表示4
8	セーバー表示1
9	セーバー表示2
10	サイレント表示
11	SCANモード



タイトルや時刻を表示させておきたいときは、上記No.1~2を選んでください。また、時刻はどのパターンでも設定できます。

#### MDA-W988Jのみ

### 動画表示の設定

「グラフィックスクリーンを切りかえる」のNo.3の動画表示部分をお好みに合わせ5タイプより選ぶことができます。

- 1 「CUSTOM」を押して、ANIMATIONモードを選ぶ。

→ BEEPモード → ANIMATIONモード → 通常モード →

- 2 「サウンドコントローラー」を回転させて、動画タイプを選ぶ。

→ TYPE1 ⇄ TYPE2 ⇄ TYPE3 ⇄ TYPE4 ⇄ TYPE5 ⇄ OFF ←

- 3 「サウンドコントローラー」を押す。  
グラフィックスクリーンのNo.3を選ぶと設定した動画が表示される。

### オートボリュームを設定する

エンジンノイズやロードノイズなどのノイズ成分を検出して、適切な音量レベルに自動補正するオートボリュームの設定をします。

- 1 「ロータリーエンコーダー」を2秒以上押して、お好みのモードを選ぶ。  
2秒以上押すたびにモードが切りかわる。

→ LOW → HIGH → OFF →

LOW :

オートボリュームの音量レベルを、小さめに設定する。

HIGH :

オートボリュームの音量レベルを、大きめに設定する。

OFF :

オートボリュームを、OFFにする。

MDA-W988Jのみ

操作音の音量設定

スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受けたことを伝えます。また操作音の音量をお好みに合わせて調整することができます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、SOUND GUIDE モードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、SOUND GUIDEのレベル (OFF、1~5) を調整する。

**SOUND GUIDE 3**  
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。



可動ディスプレイの警告ブザーは、上記の設定に関係なくブザーを鳴らします。MDなどの音量が大きいと、操作音が聞こえない場合があります。外部オーディオプロセッサ接続時は、SOUND GUIDEモードは選択できません。

MDA-W988Jのみ

操作音パターンの切りかえ

スイッチを押したときの操作音をお好みに合わせ3タイプから選ぶことができます。

- 1 「CUSTOM」を押して、BEEPモードを選ぶ。



- 2 「サウンドコントローラー」を回転させて、操作音タイプを選ぶ。



- 3 「サウンドコントローラー」を押す。



「操作音の音量設定」がOFFの場合は、どのタイプに設定しても操作音は鳴りません。

MDA-W966Jのみ

操作音のON/OFF

スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受けたことを伝えます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、BEEP モードを選ぶ。

- 3 「BAND」を押して、BEEPの設定を切りかえる。

**BEEP ON ↔ BEEP OFF**

(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。



可動ディスプレイの開閉時の警告ブザーは、BEEPのON、OFFに関係なく音を出します。

MDA-W988Jのみ

オープニングメッセージのON/OFF

本機には、いくつかのオープニングメッセージが用意されています。例えば、オープニングメッセージをONにした場合、本機の日付が12月25日のときに本機の電源をONにすると、クリスマス用のオープニングメッセージが表示されます。

カレンダー日付設定については「時刻/カレンダーを設定する」(29ページ)を参照してください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、OPENING MESSAGE モードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、ONまたはOFFを選ぶ。

**OPENING MESSAGE ON ↔ OPENING MESSAGE OFF**

(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。

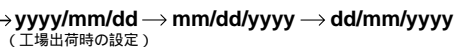
MDA-W988Jのみ

カレンダー表示パターンの切りかえ

カレンダーの表示パターンをお好みに合わせ切りかえることができます。

カレンダー日付設定については29ページを参照してください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、CALENDAR DISPLAY モードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、お好みのパターンを選ぶ。

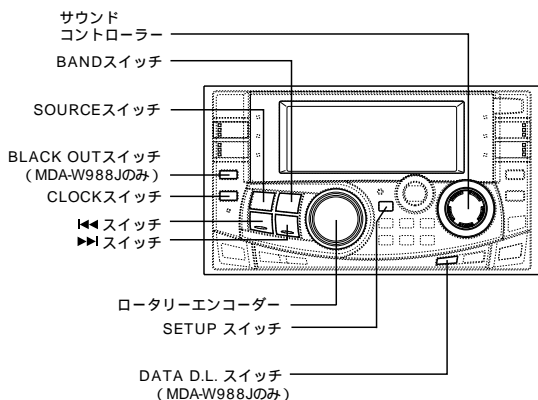


(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。



カレンダーは、時刻表示モード時に表示されます。時刻表示については、30ページを参照してください。



## TUNER (FM)音質の設定

本機は「MAX TUNE SQ」を搭載しており、最高音質の性能が楽しめます。さらに、お好みでFM音質を設定することができます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「1/2」または「2/3」を押してTUNER SELECTモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、TUNERの設定を切りかえる。

→ **NORMAL** → **Hi-Fi** → **STABLE**  
(工場出荷時の設定)

NORMAL : 標準設定  
Hi-Fi : 音質重視設定  
STABLE : ノイズを抑えた設定

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常モードに戻る。



Hi-Fi設定を使用の際、受信状態によってはノイズが目立つ場合があります。この様なときにはNORMAL設定での使用をお勧めします。

## MDA-W988Jのみ

## ディスプレイ表示をOFFにする (BLACK OUT機能)

ディスプレイ表示を消灯することで、より良い高音質を実現させることができます。

- 1 「BLACK OUT」を3秒以上押す。  
ディスプレイ表示が消える。
- 2 解除するには再度、「BLACK OUT」を3秒以上押す。



ディスプレイ表示が消灯しているときに他のスイッチ操作を行ったときは、ディスプレイ表示を5秒間だけ点灯させ、5秒後再び消灯させます。

## i-Personalize™

i-Personalize™にあたって

- アルパインのWebサイトからCD-Rに作成したデータをMDA-W988Jにダウンロードし記憶することができます。サービスを開始するには下記のURLにアクセスし、画面上の指示に従って操作してください。  
<http://www.alpine.com>または<http://www.alpine.co.jp>ダウンロードできるデータ

ADDITIONAL CAR (現在使用しません)	カスタマイズサウンドデータベースに新車情報を追加します。
パラメトリックEQ	パラメトリックEQモードのPreset6にメモリーします。
タイムコレクション	タイムコレクションモードのPreset6にメモリーします。
X-OVER	X-OVERモードのPreset6にメモリーします。
Profile	オープニングメッセージとして設定されます。

- Profileは「オープニングメッセージのON/OFF」(27ページ)でONに設定しているときに表示されます。
- ダウンロードデータのファイル名は、「A\_U\*\*\*\*\*.MP3」とする。

A\_U\*\*\*\*\*.MP3  
 拡張子(固定)  
 識別子(任意の英数字、最大5文字)  
 ヘッダー(固定)

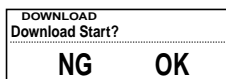
ファイル名はWebサイト上で設定できます。ただし、それ以降に変更はしないでください。動作不良の原因となります。



ダウンロード手順については、ALPINEのWebサイトをご覧ください。

## データのダウンロード

- 1 データが入っているCD-Rディスクを挿入する。  
すでにディスクが入っているときは、「SOURCE」を押してCDモードにする。
- 2 「DATA D.L.」を押す。  
ダウンロードモードになりダウンロード確認画面が表示される。
- 3 「サウンドコントローラー」を回転させて「OK」を選択し、「サウンドコントローラー」を押す。

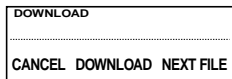


ディスク内のデータサーチを開始し、データサーチ終了後に最初のファイル名が表示される。



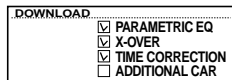
「NG」を選択するとダウンロードモードを終了します。  
データサーチでファイルが見つからない場合は、「NO FILE」と表示します。「NO FILE」表示は、5秒間何も操作しないと解除されます。

- 4 「サウンドコントローラー」を回転させて「DOWNLOAD」を選択し、「サウンドコントローラー」を押す。



データのダウンロードを開始し、現在表示されているファイルがダウンロードされる。他のファイルをダウンロードしたい場合は「NEXT FILE」で呼び出す。  
 CANCEL : ダウンロードモードを終了する。  
 DOWNLOAD : ダウンロードを開始する。  
 NEXT FILE : 次のファイルをサーチする。

データのダウンロードが正常終了すると確認画面を5秒間表示し、ダウンロードモードを終了します。確認画面のチェックボックスにチェックされている項目が正常にダウンロードされたデータを示します。



- PARAMETRIC EQ : パラメトリックEQデータ  
パラメトリックEQモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。
- X-OVER : X-OVERデータ  
X-OVERモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。  
2WAY/3WAYスイッチの設定とダウンロードするデータの設定が合っていないとダウンロードはできません。
- TIME CORRECTION:タイムコレクションデータ  
タイムコレクションモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。
- ADDITIONAL CAR:カスタマイズサウンドデータ  
ベース車種一覧の最後に1車種のみ追加されます。設定するには、「カスタマイズサウンドデータベースを使う」(17ページ)を参照し、車種の頭文字選択画面において、マークのついた車種を選んでください。

**Memo** ダウンロード確認画面には、Profileデータは表示されません。  
 新たにダウンロードした場合は、上書きでメモリーされます。  
 ADDITIONAL CARについては、現在使用しません。

MDA-W988Jのみ

時刻/カレンダーを設定する

- 1 「CLOCK」を繰り返し押して、時刻表示モードにする。
- 2 「CLOCK」を3秒以上押して、時刻/カレンダー設定モードにする。
- 3 5秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて「年」を設定し、「ロータリーエンコーダー」を押して、確定する。
- 4 手順3の操作で続けて「月」「日」「時」「分」を設定する。



どのモード(CD、ラジオ、チェンジャーなど)でも時刻を設定することができます。  
 時報に合わせたいときは、「時」設定後に「ロータリーエンコーダー」を長く押すと「分」表示が「00」となります。「:30」を超えた表示のときに「ロータリーエンコーダー」を長く押すと「時」は繰り上がります。  
 年設定は2001年~2099年まで設定できます。  
 工場出荷時は「2002/04/01 AM 12:00」となっています。  
 時刻/カレンダー設定モードは、5秒間何も操作しないと解除されます。

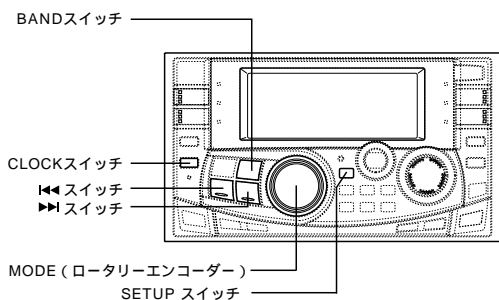
MDA-W966Jのみ

時刻を設定する

- 1 「CLOCK」を繰り返し押して、時刻表示モードにする。
- 2 「CLOCK」を3秒以上押して、時刻設定モードにする。
- 3 5秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて「時間」を設定し、「ロータリーエンコーダー」を押して、確定する。
- 4 5秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて「分」を設定し、「ロータリーエンコーダー」を押して、確定する。



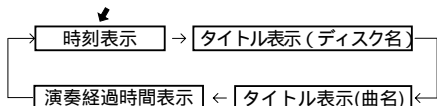
どのモード(CD、ラジオ、チェンジャーなど)でも時刻を設定することができます。  
 時報に合わせたいときは、「時」設定後に「ロータリーエンコーダー」を長く押すと「分」表示が「00」となります。「:30」を超えた表示のときに「ロータリーエンコーダー」を長く押すと「時」は繰り上がります。  
 時刻設定モードは、5秒間何も操作しないと解除されます。



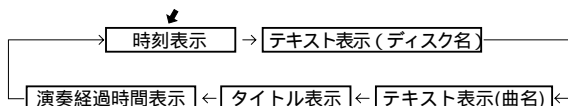
## 時刻を表示する

- 1 「CLOCK」を繰り返し押して、時刻表示モードにする。

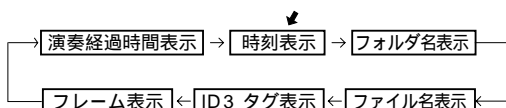
(MD/MDチェンジャーモードのとき)



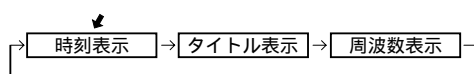
(CD/CDチェンジャーモードのとき)



(MP3モードのとき)



(TUNERモードのとき)



電源がOFFの状態では、時刻表示はできません。時刻を表示している状態で、ラジオ/MDなどを操作すると、行った操作を数秒間表示した後、時刻表示に戻ります。グラフィックスクリーンの設定によっては、時刻を表示させておくことができない場合があります。詳しくは、「グラフィックスクリーンを切りかえる」(26ページ)を参照してください。

## デモンストレーション機能

本機には、表示演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、DEMOモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、DEMO ONにする。

**DEMO ON ⇄ DEMO OFF**  
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
デモンストレーションモードになり、表示演出のみの動作を自動的にを行う。  
デモンストレーションをご使用になったら、必ず解除する。

## デモンストレーション機能を解除する

初めて電源をONした場合は、自動的にデモンストレーションが開始されます。また、デモンストレーションをご使用になった場合も、必ず以下の方法でデモンストレーションを解除してください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、DEMOモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、DEMO OFFにする。

**DEMO ON ⇄ DEMO OFF**  
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。

## 拡張ユニット操作

### サブウーハーを接続する

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀▶」または「▶▶」を押してSUBWOOFER ON またはOFFモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、SUBWOOFERをONにする。

**SUBWOOFER ON ↔ SUBWOOFER OFF**  
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。
- 5 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を押してSUB.Wモードを選ぶ。

→ SUB.W → BALANCE → FADER → DEFEAT → VOLUME



SUB.Wを選んだ後、「◀▶」または「▶▶」を押すと、サブウーハー出力の位相(0°/180°)を切りかえることができます。お好みの音が得られる方を選んでください。3WAY/2WAY切りかえスイッチ(38ページ参照)を「3WAY」に設定している場合、フェーダー調整はできません。

- 6 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、サブウーハー出力のレベル(0~+15)を調整する。



モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。

### サブウーハー出力の設定

本機サブウーハー出力をステレオ出力またはモノラル出力に設定することができます。組み合わせのサブウーハーに合わせ設定してください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀▶」または「▶▶」を押してSUBWOOFER STEREO/MONOモードを選ぶ。  
SUBWOOFER OFFに設定されている場合は選択できない。
- 3 「BAND」押し、STEREOまたはMONOモードを選ぶ。

**SUBWOOFER STEREO ↔ SUBWOOFER MONO**  
(工場出荷時の設定)

STEREO : サブウーハーステレオ(L/R)出力  
MONO : サブウーハーモノラル出力

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。

## MDA-W988Jのみ

### 外部アンプを接続する

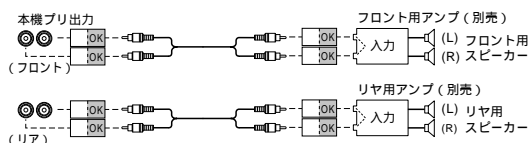
外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。次の手順で「P-IC VOLT.OFF」にしてください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀▶」または「▶▶」を押してP-IC VOLT.モードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、P-IC VOLT.OFFにする。

**P-IC VOLT. OFF ↔ P-IC VOLT. ON**  
(工場出荷時の設定)

#### P-IC VOLT. OFF

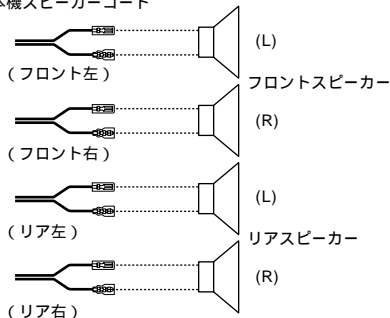
本機のフロント/リア出力と外部アンプをつないで、スピーカーを駆動するときに設定する。このとき、本機のスピーカーコードからは出力されない。



#### P-IC VOLT. ON

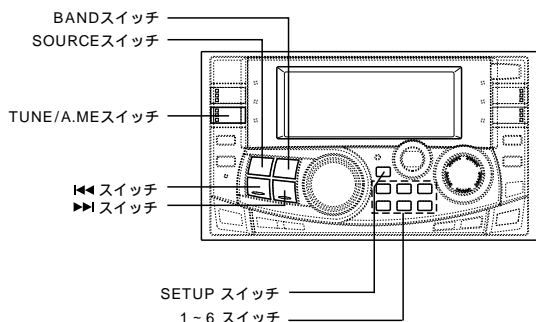
内蔵アンプでスピーカーを駆動するときに設定する。

#### 本機スピーカーコード



このシステムで「OFF」に設定すると音は出ません。

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。



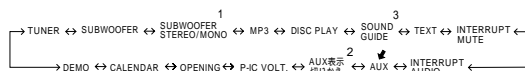
## 拡張ユニット操作

### 外部入力の設定

別売のAi-RCA変換ケーブル (KCA-121B) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してAUXモードを選ぶ。

#### MDA-W988J



- 1 SUBWOOFER ONに設定したとき表示される。
- 2 AUX ONに設定したとき表示される。
- 3 外部オーディオプロセッサ接続時は表示されない。

#### MDA-W966J



- 1 SUBWOOFER ONに設定したとき表示される。
- 2 AUX ONに設定したとき表示される。

- 3 「BAND」を押して、ONにする。

### AUX OFF ↔ AUX ON

(工場出荷時の設定)



AUXをONにした後に「◀◀」または「▶▶」で、「AUX表示切りかえ」を選び「BAND」を押してAUXモード時の「表示」を設定することができます。例えば、テレビの時は「TV」、ゲームの時は「GAME」など本機側の表示を設定することができます。

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。

- 5 「SOURCE」を押して、AUX (外部入力) モードを選び、音量などを調整する。

## 外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)

別売のVersatile Link Terminal (KCA-410C) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを2台まで本機に入力させることができます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してAUXモードを選ぶ。

#### MDA-W988J



- 1 SUBWOOFER ONに設定したとき表示される。
- 2 AUX ONに設定したとき表示される。
- 3 外部オーディオプロセッサ接続時は表示されない。

#### MDA-W966J



- 1 SUBWOOFER ONに設定したとき表示される。
- 2 AUX ONに設定したとき表示される。

- 3 「BAND」を押して、ONにする。

### AUX OFF ↔ AUX ON

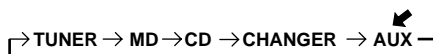
(工場出荷時の設定)



AUXをONにした後に「◀◀」または「▶▶」で、「AUX1またはAUX2表示切りかえ」を選び「BAND」を押してAUX1、2モード時の「表示」を設定することができます。

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。

- 5 「SOURCE」を押して、AUX (外部入力) モードを選ぶ。




- 6 「BAND」を押して、接続された製品を選ぶ。



## 外部割り込みモードの設定

Ai割り込みBOX (NVE-K200) などと組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀▶」または「▶▶」を押して、INTERRUPT MUTEモードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、INTERRUPT MUTE OFFにする。  

  
**INTERRUPT MUTE ON** ⇨ **INTERRUPT MUTE OFF**  
(工場出荷時の設定)
- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。

## 外部割り込み時のデフォルト設定

外部割り込みした音声に対し、本機のEQ/カスタマイズドサウンドデータベース/MXをデフォルトさせて出力させます。

(デフォルト:EQ/カスタマイズドサウンドデータベースを初期値、MXをOFFにします。)

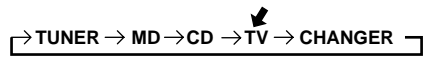

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀▶」または「▶▶」を押して、INTERRUPT AUDIO(INT AUDIO)モードを選ぶ。
- 3 「BAND」を押して、INTERRUPT(INT) AUDIO ONにする。  


  
**INTERRUPT AUDIO OFF** ⇨ **INTERRUPT AUDIO ON**  
(工場出荷時の設定)
  
**MDA-W988J**  
**MDA-W966J**  

  
**INT AUDIO OFF** ⇨ **INT AUDIO ON**  
(工場出荷時の設定)
- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。

## TV (Ai-NET対応) を操作する

### 放送局を選ぶ

- 1 「SOURCE」を押して、TVモードにする。  

  
(各ユニットを接続している場合に表示)
- 2 「BAND」を押してバンドを選ぶ。  

- 3 「TUNE」を押して、チューニングモードを選ぶ。  
 SEEKモード  
 ↓  
 マニュアルモード


 **Memo** SEEKモードのとき  
受信可能な放送局(チャンネル)を自動的に探します。  
マニュアルモードのとき  
1段階ずつチャンネルが変わります。

- 4 「◀▶」または「▶▶」を押して、放送局を選ぶ。


### 選んだ放送局を記憶する < 手動記憶 >

- 1 「放送局を選ぶ」を参照して記憶させたい放送局に合わせる。
- 2 「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。  
押されたNo.に放送局が記憶される。

### 選んだ放送局を記憶する < 自動記憶 >

- 1 「BAND」を押して記憶させたいバンドを選ぶ。  

- 2 「A.ME」を2秒以上押す。  
電波の強いチャンネルを選択し、「1」～「6」に記憶される。

### 記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。  

- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。  
ダイレクトに放送局が受信される。

 **Memo** Ai-NET対応TV(TVA-T017など)は現在販売されていません。

# リモコン操作 (MDA-W988Jのみ)

MDA-W966Jは別売リモコンが必要です。

## 使用時のご注意

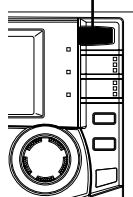
リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。

リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

リモコンは小型軽量な精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。

衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気やホコリを避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

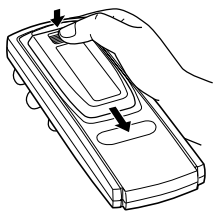
リモコンセンサー部



## 電池を入れる

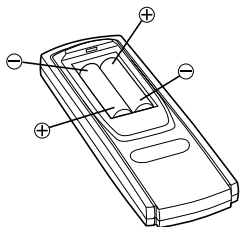
### 1 フタを開ける

フタを少し強めに押しながら矢印の方向へ押す。



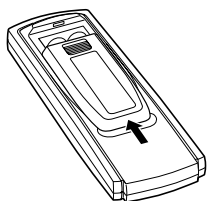
### 2 電池を入れる

本体の⊕、⊖表示通り入れる。



### 3 フタを閉める

“カチッ”と音がして固定される。

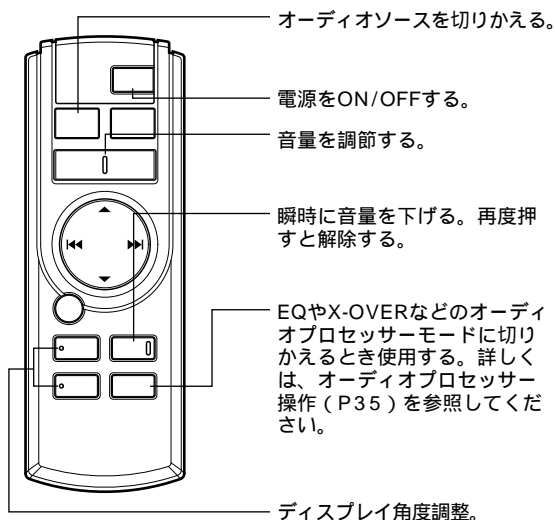


電池は単4乾電池 (UM-4) × 2をご使用ください。

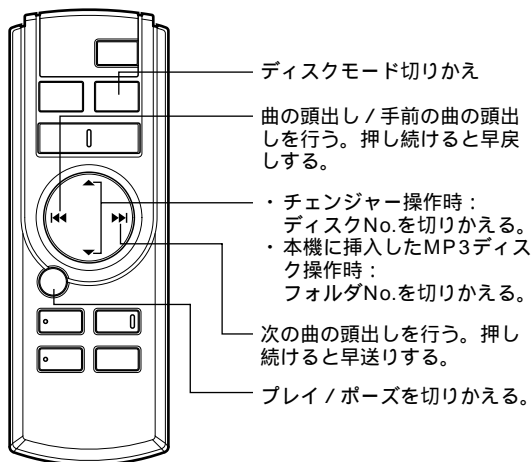
## 警告

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

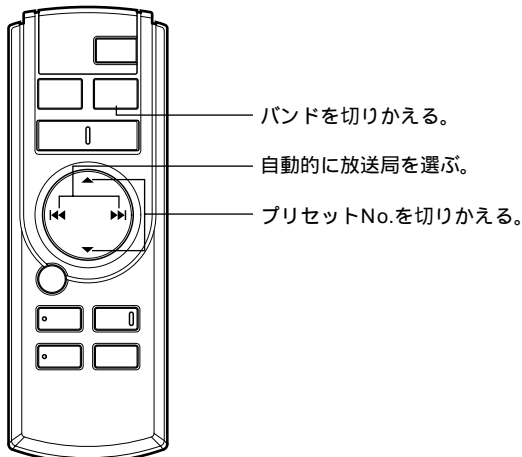
## 基本操作



## MD/CD(MP3)/チェンジャー操作



## ラジオ操作



# オーディオプロセッサ操作

手順		イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ	記憶したイコライザーカーブの呼び出し	記憶した時間補正值の呼び出し	記憶したX-OVERの呼び出し	
1	「A. PROC」を押して、モードを選ぶ	通常モード	MAKER'S EQモード	USER EQモード	タイムコレクションモード	X-OVERモード
2	「▲」または「▼」を押して、モードを選ぶ	FLAT ↑↓ POPS ↑↓ ROCK ↑↓ NEWS	メモリー1 ↑↓ メモリー2 ↑↓ メモリー3 ↑↓ メモリー4 ↑↓ メモリー5 ↑↓ メモリー6	メモリー1 ↑↓ メモリー2 ↑↓ メモリー3 ↑↓ メモリー4 ↑↓ メモリー5 ↑↓ メモリー6	メモリー1 ↑↓ メモリー2 ↑↓ メモリー3 ↑↓ メモリー4 ↑↓ メモリー5 ↑↓ メモリー6	



# 取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

## 1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
  - RCAコード、ピンコード
 家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ/ビデオ/テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- スピーカーの接続
 

純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。

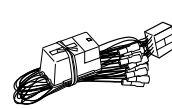
スピーカーは、インピーダンスが3.2～8 のものをお使いください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 取り付け場所について
 

ディスプレイ開閉の際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して35度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げ店/インフォメーションセンターにお問い合わせください。

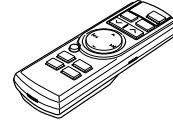
## 2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。

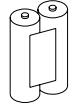
電源コード



リモコン  
(MDA-W988Jのみ)



電池(単4)  
(MDA-W988Jのみ)



サラネジ  
(M5×8)



×6

バインドネジ  
(M5×8)



×8

マイク(MDA-W988Jのみ)  
(自動測定用)



一式

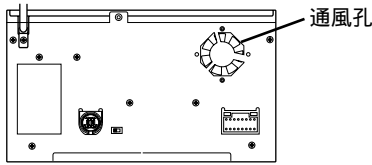
- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル(インパネ)を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。(ブラケットは、4. 取り付けの2. で利用します。)

## 3. 接続する

- 39ページの基本接続図を参照して接続する。  
他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。  
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点もれているところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。  
固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

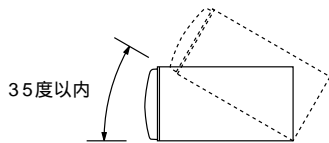
## 4. 取り付ける

**△注意** 通風孔や放熱板をふさがない。  
通風孔・放熱板をふさがないでください。通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



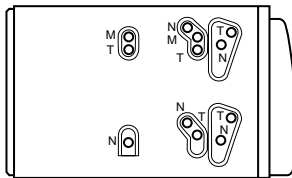
< 製品裏側 >

1. ディスプレイ開閉の際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。



2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

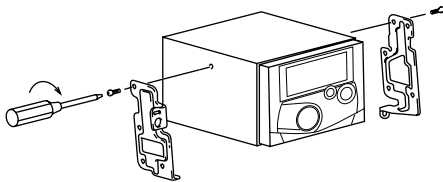
取り付け用ネジ穴



N穴 ニッサン車 M穴 ミツビシ車  
T穴 トヨタ車・ミツビシ車  
取り付ける車種により異なります。

### 「日産車へ取り付ける際のご注意」

日産車へ取り付ける際は、必ず別売の「取付キット FN-247」または市販の「日産取付専用キット」をお買い求めの上、本機付属のネジで取り付けてください。取付キットを使用しないで取り付けると故障の原因となります。



3. 「ブラケットと一体化になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。  
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。

## 5. 確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。



**Memo** 車両雑音から守るために  
・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。  
・本機や本機からのコードを車両配線から離す。  
・バッテリー電源コードとPINコードは離す。  
・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

# スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。

取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものを垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

## MDA-W988Jのみ

### 最大出力切りかえスイッチについて

最大出力を60Wにすることができます。

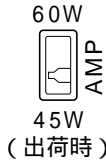
60Wで使用する場合、組み合わせるスピーカーが「最大入力60W以上」「インピーダンス 3.2~8 Ω」であることを必ず確認してください。

指定以外のスピーカーをお使いになると、スピーカーの発火・発煙・破損の原因になります。

また、本機とバッテリーの接続には、必ず別売の電源延長コード（KWR-303G）を使用し直接車側のバッテリーへ接続してください。接続方法については、別紙の「ご注意」を参照してください。

上記条件以外は、必ず45Wのままで使用してください。

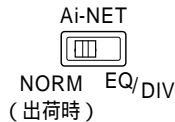
(本機の底面部)



### システムスイッチ

本機にAi-NET対応のイコライザーやオーディオプロセッサ等を接続するときは、「EQ/DIV」側に切りかえます。

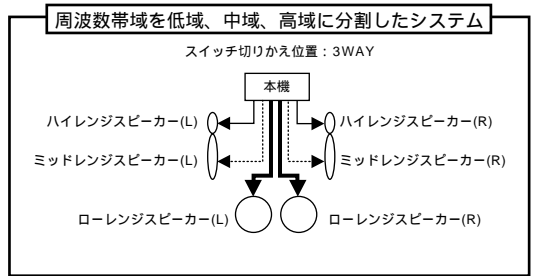
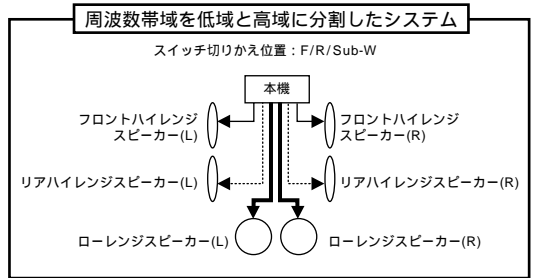
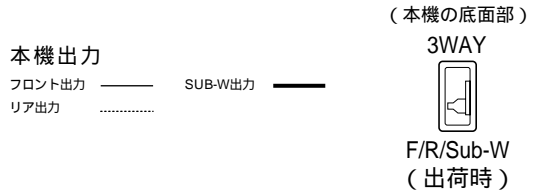
(本機の背面部)



チェンジャーのみを接続する（Ai-NET対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

### 3WAY/2WAY切りかえスイッチ

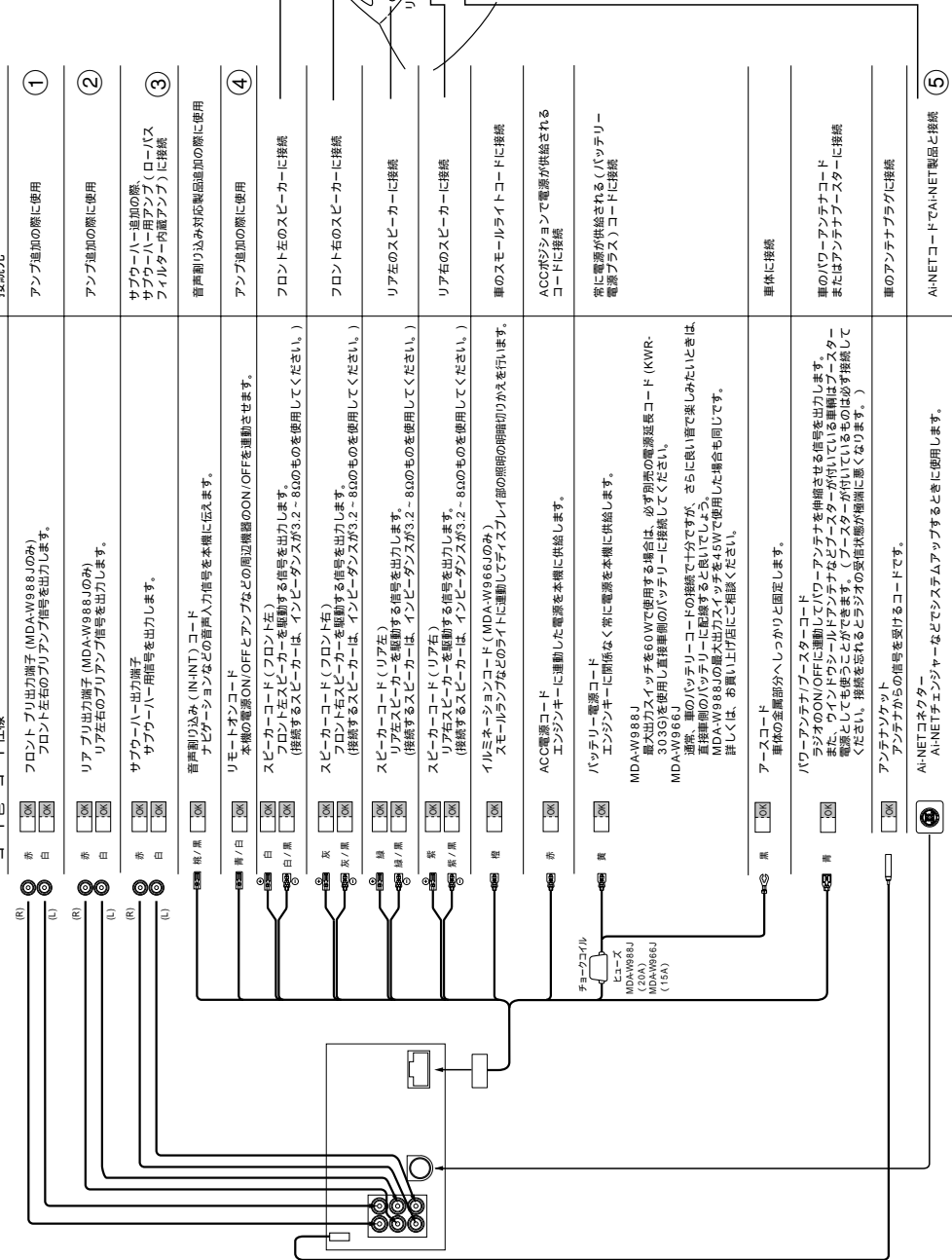
下記システム図を参考にスイッチを切りかえてください。詳しくはお買い上げ店にご相談ください。



ローレンジスピーカーへの接続は本機のSUB-W出力コードを使用します。フロント出力/リア出力は内蔵アンプを利用することもできます。「3WAY」に設定した場合、フェーダー調整はできません。

# 基本接続図

## コード色 コード仕様



IN-INTの接続について  
IN-INTコードは次の組み合わせ時に使用します。  
音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。  
音声認識対応のナビゲーションのミュージックコードに接続します。音声認識操作のとき本機の音量をミュートさせます。詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。  
OUT-INT対応の製品と組み合わせる。  
AI割り込みBOX (NVE-K200) などとOUT-INT対応のTV (TVE-T038など) を組み合わせ使用するとき接続します。TVの音声の本機に割り込ませません。詳しくはNVE-K200やTV側の説明書を参照してください。



上記接続先の丸番号は、6. システムアップの例で使用します。

## 6. システムアップの例

チェンジャーを接続する。

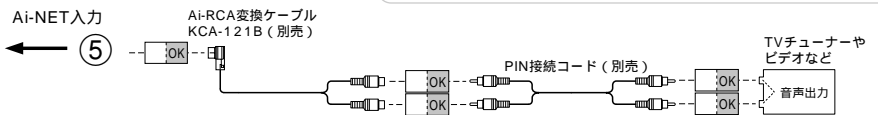
システムスイッチ **NORM**



チェンジャーは1台のみ接続可能です。

外部入力にビデオなどを接続する。

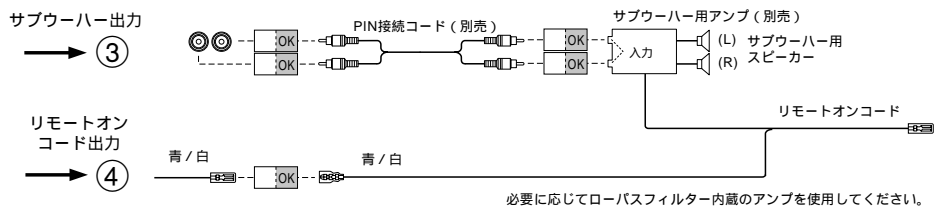
システムスイッチ **NORM**



「外部入力の設定」(32ページ)を参照してください。

サブウーハーを接続する。

システムスイッチ **NORM**

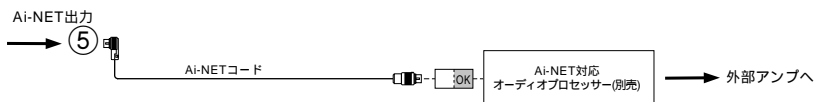


「サブウーハーを接続する」(31ページ)を参照してください。  
組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

必要に応じてローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

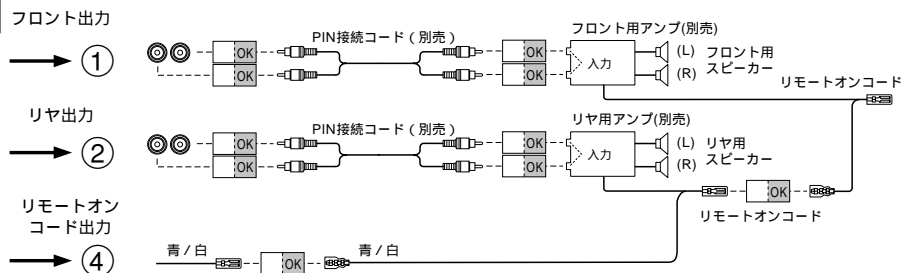
Ai-NET対応オーディオプロセッサを接続する

システムスイッチ **EQ/DIV**



外部アンプを接続する。(MDA-W988Jのみ)

システムスイッチ **NORM**



外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。詳しくは「外部アンプを接続する」(31ページ)を参照してください。



組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど(外部入力)2台、計4台の製品を接続することができます。詳しくはKCA-410Cの説明書を参照してください。





# 故障かな？と思ったら

操作ミスや動かないを故障と間違えていませんか？

接続・配線は正しく行われていますか？

下の表をもう一度ご確認ください。

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P43）にご相談ください。

操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF ONしてください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行ってください。

## 共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
  - ・規定容量のヒューズと交換する。( P39 )
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
  - ・リセットスイッチをボールペンの先などで押す。( P6 )

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
  - ・音量レベルを上げる。( P15 )
- MUTEがONになっている。
  - ・MUTEを解除する。( P26 )
- フェーダーの設定が適切でない。
  - ・2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。( P15 )
- アンプの設定が適切でない。( MDA-W988Jのみ )
  - ・内蔵アンプを使用しているときは、アンプの設定をP-IC VOLT.ONにする。( P31 )

電源OFFのとき、時計表示できない。

- 本機の仕様では、電源OFFのとき、時計表示はできない。
- ・電源をONにして、時刻表示モードにする。( P30 )

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
  - ・もう一度記憶する。
- バッテリーコードの接続ミス
  - ・接続を確認する。( P39 )

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
  - ・しばらく待つ。

警告ブザーが鳴る。

- ディスプレイが開ききった状態で約30秒経過した。
  - ・「CD ▲」または「MD ▲」を押してディスプレイを閉める。( P6 )

## MD/CD部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
  - ・ディスクを取り出してから入れ直す。
- ディスクの入れかたが間違っている。
  - ・本書を参照し、正しく入れる。( P7, 8, 12 )

演奏が始まらない。/音がとぶ。/音が歪む。/早送り/早戻しができない。

- 車内温度が50 以上ある。
  - ・車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
  - ・ディスクがひどく汚れている。録音状態が良くない。
- 本機対応のディスクでない。
  - ・他のディスクを再生してみる。

- 結露している。
  - ・しばらく放置してから使う。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面/センターホールにバリがある。
  - ・ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。
- ピックアップレンズが汚れている。
  - ・メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ)( P43 )
  - 市販のレンズクリーナーは、使用できません。

CD-R/CD-RWが再生できない。

- クローズセッション(ファイナライズ処理)を行っていない。
- ・クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度、試してみる。

MP3が演奏されない。

- 書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている。
  - ・書き込みに失敗していないか確認する。または「MP3について」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。( P45 )

## ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
  - ・アンテナが確実に接続されているか確認する。( P39 )
- アンテナが伸びていない。
  - ・アンテナを伸ばす。
- ・パワーアンテナ/プースターコードが接続されているか確認する。

放送局の周波数が合っていない。

- ・周波数を正しく合わせる。( P8 )
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
  - ・見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
  - ・アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
  - ・ディスタンスモードまたは手動で受信する。( P8 )

## メッセージが表れたら...

### NO MAGAZINE

- マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。
- ・マガジンをCDチェンジャーにセットする。

### NO DISC

- ディスクが入っていない。
  - ・ディスクを入れる。
- ディスクが入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。
  - ・次の方法でディスクを取り出す。
    - ①「CD ▲」を押す。
      - 可動ディスプレイが開く。
    - ②可動ディスプレイが開いた状態で「CD ▲」を3秒以上押す。

### BLANK DISC

- ディスクに曲が入っていない。(未録音ディスク)
  - ・ディスクに曲を録音してから使用する。

### HI TEMP

- 車内温度が高すぎる。
  - ・車内温度を常温まで下げる。

### NO TEXT

- テキストが入力されていない。
  - ・CDテキスト対応のCDと交換する。

### NO TITLE

- タイトルが入力されていない。
  - ・タイトルを入力する。
  - MDにタイトルが入っていない。

### NO SUPPORT

- 本機(またはチェンジャー)で対応していない文字情報が入力されている。
  - ・本機で対応している文字情報が入力されたディスクを使用する。

### NO TAG

- MP3ファイルにID3タグ情報が入力されていない。
  - ・ID3タグ情報が入力されているMP3ファイルを演奏する。

### FULL DATA

- メモリーがいっぱいのため、タイトル入力できない。
  - ・不要なタイトルを消す。

### ERROR

- ディスク傷、ディスク汚れ。/録音状態が良くない。/本機対応のディスクでない。
  - ・「CD ▲」または「MD ▲」を押して、ディスクを交換する。

結露している

- ・しばらく放置する。

メカニズムエラー。

- ①「CD ▲」または「MD ▲」を押して、ディスクを取り出す。
  - イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
- ②ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「CD ▲」または「MD ▲」を押す。
- ③何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

### ERROR 1

- ディスクがマガジンに戻っていない。
  - ①「▲」を押す。
  - ②空の(ディスクが入っていない)マガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。

メカニズムエラー。

- ①「▲」を押す。
- ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。
- ③それでも復旧しない...修理ご相談窓口へ。

### ERROR-02

ディスクがマガジンに戻っていない。

- ①「▲」を押す。
- ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。

# 規格

## チューナー部

受信周波数	AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 $\mu$ V, FM ; 0.8 $\mu$ V (75 ) : 9.3dBf (新IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 45dB以上
SN比	FM ; 80dB以上
周波数特性	FM ; 30 ~ 15,000Hz
イメージ妨害比	FM ; 80dB以上
IF妨害比	FM ; 80dB以上

## MD部

周波数特性	20Hz ~ 20kHz ( $\pm$ 0.5dB )
ダイナミックレンジ	90dB ( 1kHz ) 以上
SN比	105dB ( 1kHz ) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

## CD部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
周波数特性	5Hz ~ 20kHz ( $\pm$ 1dB )
ダイナミックレンジ	93dB ( 1kHz ) 以上
SN比	105dB ( 1kHz ) 以上
チャンネルセパレーション	86dB ( 1kHz ) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

## グラフィックイコライザー部 (MDA-W966Jのみ)

バンド数	7
イコライザー周波数	63Hz/160Hz/400Hz/1kHz/2.5kHz/ 6.3kHz/16kHz

## パラメトリックイコライザー部 (MDA-W988Jのみ)

バンド数	5
イコライザー周波数	
バンド1:	20Hz/25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/ 63Hz/80Hz/100Hz/125Hz/160Hz/ 200Hz/250Hz/315Hz/400Hz/500Hz
バンド2:	50Hz/63Hz/80Hz/100Hz/125Hz/ 160Hz/200Hz/250Hz/315Hz/400Hz/ 500Hz/630Hz/800Hz/1kHz/1.2kHz
バンド3:	125Hz/160Hz/200Hz/250Hz/315Hz/ 400Hz/500Hz/630Hz/800Hz/1kHz/ 1.2kHz/1.6kHz/2kHz/2.5kHz/3.2kHz
バンド4:	315Hz/400Hz/500Hz/630Hz/800Hz/ 1kHz/1.2kHz/1.6kHz/2kHz/2.5kHz/3.2kHz/ 4kHz/5kHz/6.3kHz/8kHz
バンド5:	800Hz/1kHz/1.2kHz/1.6kHz/2kHz/ 2.5kHz/3.2kHz/4kHz/5kHz/6.3kHz/ 8kHz/10kHz/12.5kHz/16kHz/20kHz

## リモコン部 (MDA-W988Jのみ)

使用電源	DC1.5V $\times$ 2 (UM-4)
外形寸法	42 (幅) $\times$ 121 (高さ) $\times$ 23 (奥行) mm
重量	50g (電池は含まれない)

## 一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 ; 11 ~ 16V)
アース方式	マイナスアース
最大出力	
(MDA-W988J)	60W $\times$ 4
(MDA-W966J)	50W $\times$ 4
出力レベル	500mV/10k
外形寸法	178 (幅) $\times$ 100 (高さ) $\times$ 160 (奥行) mm
重量	2.5 kg

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

# 保証について

## 保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。  
必ず「販売店印・お買上げ日」が記入されていることをご確認ください。  
保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

## アフターサービスについて

調子が悪いとき  
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。  
それでも調子が悪いとき  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買上げ店、または43ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口へ、修理を依頼してください。

## 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

## 補修用性能部品

製造打切り後、最低6年間保有しています。

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上げ店、または43ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買上げ店にお問い合わせください。

# お問い合わせ窓口

( AV/NAVI/MD/3D )

( 平成14年2月1日現在 )

## お問い合わせ窓口

製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。  
 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。  
 ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



### 製品ご相談窓口

インフォメーションセンター	・ FAX : 03-3494-1767   TEL : 03-3779-0711 ・ 電話受付時間 土日祝日を除く 9:30 ~ 12:00   13:00 ~ 17:00
---------------	--

営業所・販社名	電話番号	住 所
東関東営業所	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1
東京営業所	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地
中部営業所	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中区猪子石3丁目108番地
静岡出張所	054-283-0171	〒422-8032 静岡県静岡市有東3丁目9番1号 2F
関西営業所	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
アルパイン北海道 (株)	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル
アルパイン東北 (株)	022-239-5331	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号
仙台office (青森・ 岩手・秋田・宮城・ 山形・福島)		
アルパイン中四国 (株)		
岡山営業所	086-243-8257	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号
広島営業所	082-846-1175	〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2-11-16
高松営業所	087-869-3086	〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11
愛媛出張所	089-958-4707	〒791-1104 愛媛県松山市北土居町443-1 エクスセル12 1-B

営業所・販社名	電話番号	住 所
アルパイン九州 (株)		
福岡office	092-513-1071	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1-12-22
長崎office	0957-27-1581	〒854-0074 長崎県諫早市山川町3-13
熊本office	096-213-7118	〒862-0929 熊本県熊本市西原2-32-29
鹿児島office	099-253-7215	〒890-0034 鹿児島県鹿児島市田上6-27-15
アルパイン関西 (株)		
高崎営業所 (群馬・栃木)	0273-61-5813	〒370-0073 群馬県高崎市緑町3丁目16-6
松本営業所	0263-48-4772	〒390-0852 長野県松本市鳥島1830-11 深澤ビル102号
宇都宮営業所	028-610-8890	〒321-0942 栃木県宇都宮市峰2-28-12
アルパイン近畿販売 (株)		
阪和営業所	0722-58-8111	〒591-8023 大阪府堺市中区百舌鳥町4丁目57番地 サンライズ中百舌鳥103号
滋賀営業所	077-566-1140	〒525-0036 滋賀県草津市草津町1660番地
東京アルパイン販売 (株)	03-3253-2635	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1の13
アルパイン北陸販売 (株)	0762-40-8111	〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号
アルパイン京都販売 (株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通 堀川東入小泉町113番地の1
アルパイン兵庫販売 (株)	078-681-9711	〒852-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5の6
アルパイン高知販売 (株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号
(株)バルス	0988-66-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3

### 修理ご相談窓口

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
北海道 青森 岩手 秋田 山形 宮城 福島 栃木 茨城 群馬 東京 神奈川 埼玉 千葉 新潟 長野 山梨	アルパインカスタマーズ サービス (株) 大宮	048-664-9711	〒330-0038 埼玉県さいたま市宮原町1-664
静岡 愛知 三重 岐阜 福井 富山 石川	アルパインカスタマーズ サービス名神 (株) 関西	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
滋賀 京都 大阪 和歌山 奈良 兵庫	アルパインカスタマーズ サービス名神 (株) 関西	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
岡山 鳥根 鳥取 広島 山口 香川 愛媛 徳島 高知 福岡 佐賀 大分 熊本 長崎 鹿児島 沖縄	アルパインカスタマーズ サービス西日本 (株) 福岡	092-513-1081	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1丁目12番22号

その他

**Q** スイッチを押すときの操作音は、消すことができないの？

**A** 操作音の設定で「SOUND GUIDE OFF」(MDA-W988J)、または「BEEP OFF」(MDA-W966J)に設定すると操作音を消すことができます。操作音の切りかえについては27ページを参照してください。

**Q** 時計表示の時刻が違っているのは、どうして？

**A** 取付けたときやバッテリーを外したとき、またはリセットしたときなどは時刻の設定が必要です。時刻の設定については、29ページを参照してください。

**Q** 「下」「浅」「大」などの漢字を入力するにはどうすればよいの？  
(MDA-W988Jのみ)

**A** 漢字は「音読み」で探してください。「下」は「か」、「浅」は「せ」、「大」は「た」の行から探します。

**Q** MDタイトルは何文字まで表示できるの？

**A** 本機内蔵のMDでは、「漢字／ひらがな」で32文字、「カタカナ／英数字」で64文字まで表示が可能です。「漢字／ひらがな」はMDA-W988Jのみ)

**Q** EQやX-OVERなどのサウンド調整ができないのは、どうして？

**A** 外部オーディオプロセッサを接続したときは、本機からEQやX-OVERなどのサウンド調整ができなくなります。

**Q** イルミネーションコードを接続するとどうなるの？  
(MDA-W966Jのみ)

**A** イルミネーションコードを車のスモールライトコードに接続すると、ライト点灯時に本機のディスプレイが減光します。

**Q** ボタンのイルミネーションが点灯しないのはどうして？

**A** ボタンのイルミネーションが点灯するのは、本機の電源がONのときです。

# MP3について

## 注意：

個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3データ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

## MP3とは？

正式には「MPEG Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。

MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。

また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。

(サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合)このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

## MP3へ圧縮する方法

市販やフリーウェアなどのMP3専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照願います。

また、本機で再生可能なMP3ファイルは、拡張子が“mp3”または“MP3”です。

## 再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレートは32kHz～44.1kHz、ビットレート32kbps～320kbpsです。

但し、サンプリングレートによっては、本機のフレーム表示（24ページ）で正しく表示されない場合があります。

## ID3タグについて

ID3 Tag v1に対応しています。

MP3ファイルにID3タグ情報が入っていれば、タイトル（曲名）、アーティスト名、アルバム名のID3タグ情報を表示できます。

対応文字以外の場合、「NO SUPPORT」が表示されます。

## MP3ディスクを作成するには

MP3ファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RWメディアに書き込みます。

ファイル/フォルダ数（Rootフォルダを含めて）は、合わせて510個までです。

## 対応メディア

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。

## 対応ファイルシステム

ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大8階層）やフォルダ/ファイル名の文字数（31文字 拡張子含む）、フォルダ/ファイル名で使用できる文字（A～Z、0～9、-（アンダスコア））などの制限があります。

また、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。但し、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

## 対応フォーマット

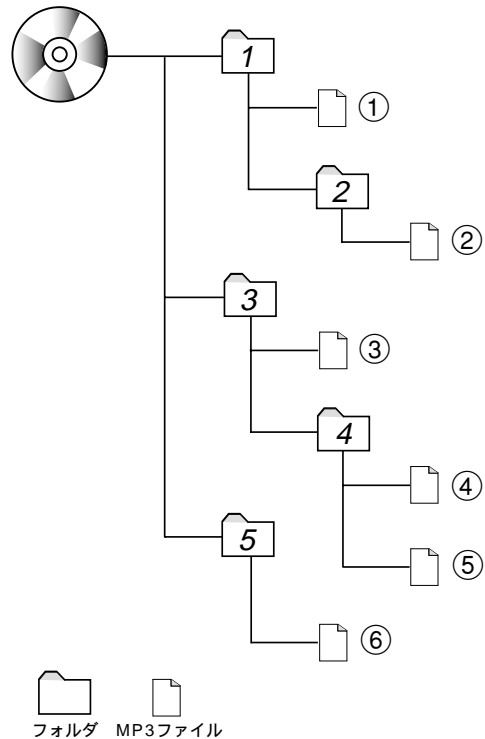
CD-ROM、CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD (CD-Extra)、及びマルチセッションに対応しています。

但し、Track At Onceやバケットライトで作成されたCDの場合、正常に再生できません。

## 演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。



ファイルが入っていないフォルダや再生できないファイルが入っているフォルダは、自動的に次のフォルダに移行します。

## 用語説明

### ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

### サンプリングレート

データを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のことで、たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング（記録）していることとなります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

### エンコード

音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

### ID3タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3ファイルに書き込まれた楽曲情報。

# 知っておきたい豆知識

## X-OVER(クロスオーバーネットワーク)はなぜ必要か？

スピーカーは一つの振動板で可聴帯域すべてをフラットに再生することが理想です。しかし、耳で聞こえる音の周波数は20Hz～20kHz位と言われ、一つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。そこでクロスオーバーを使用しスピーカーを各周波数帯域(低域、中域、高域など)に別けて各スピーカーの能力に見合った再生周波数に分割します。クロスオーバーには低音域を再生するための「ローパスフィルター(LPF)」と高音域を再生するための「ハイパスフィルター(HPF)」があります。中域は、ローパスフィルターとハイパスフィルターを組み合わせ利用します。このLPF/HPFを利用することで信号に対して忠実な再生ができるようになるのです。

## スピーカーについて

### ハイレンジスピーカー

シンバルなど、主に高音域を出力するスピーカー。

### ミッドレンジスピーカー

ボーカルの声/メロディ音など、主に中音域を出力するスピーカー。ローレンジ(サブウーハー)が用意されない場合は、このミッドレンジが低音域まで再生することになります。

### ローレンジスピーカー(サブウーハー)

ベースやドラムの音など、主に低音域を出力するスピーカー。人間の耳は80Hz以下の音に方向性を感じにくいので、LPFの設定は80Hz以下にするのが一般的です。80Hz以上の音がローレンジスピーカー(サブウーハー)からなってしまうと、前方定位が崩れてしまう場合があります。

## スロープ調整について

例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数をまったく再生しないわけではありません。スロープを設定することで、特定の周波数より低くなればなるほど、出力(音量)が低くなっていくという減衰特性を調整します。

フィルターのスロープ特性は6dB、12dB、18dB、24dB/oct.を内蔵しており、スロープの数値が大きいくほど、傾きが急となり隣の帯域からの音の混ざりもなく、狙った帯域だけを再生できますが、各スピーカー間のつながりが悪くなる場合や歪みが発生する場合がありますので、各スピーカー間の音を聴きながら調整してください。

フルレンジスピーカーを使用している場合、スロープ設定はFLATにします。

## 調整のコツ

注意：スピーカーの再生周波数を必ず確認してください。再生周波数範囲外の調整はスピーカー破損の原因となります。

### 3WAYの場合

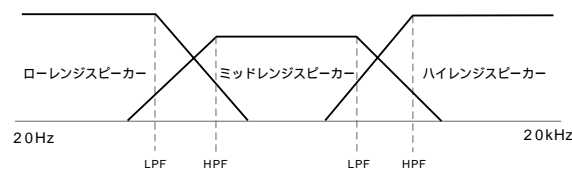
使用するスピーカーの再生可能な周波数特性にもよりますが、まずは、3つに分割してみます。

例えば、

- ・ローレンジスピーカー : 20Hz～80Hz
- ・ミッドレンジスピーカー : 80Hz～4kHz
- ・ハイレンジスピーカー : 4kHz～20kHz

とします。

このときの本機側の調整は、ローレンジスピーカーのLPFを63Hzまたは80Hz、ミッドレンジスピーカーのHPFを80Hzまたは100Hz、LPFを2kHz～4kHz、ハイレンジスピーカーのHPFは4kHzを目安とし、次にスロープを設定、そしてスピーカー全体の音のバランスを聴きながら出力レベルの調整を行います。後は、実際に試聴しながら、繰り返し周波数やスロープの調整などをお好みに合わせて行い最適な調整を探します。



### 2WAYの場合

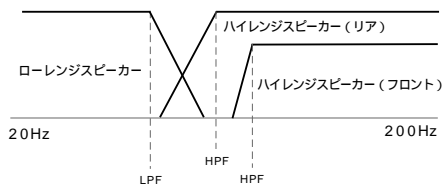
2WAYの場合は、2つに分割してみます。

例えば、

- ・ローレンジスピーカー : 20Hz～80Hz
  - ・ハイレンジスピーカー : 80Hz以上
- (フロント/リア)

とします。

本機側の調整は、ローレンジスピーカーのLPFを63Hzまたは80Hz、ハイレンジスピーカーのHPFはフロント/リアそれぞれ80Hzまたは100Hzを目安とし、上記3WAYと同じようにスロープを設定、出力レベルの調整を行います。



## 周波数帯域と音質について

一般的に、周波数には次のような音質の特徴があり、各帯域を強調/減衰することにより、さまざまな音質が楽しめます。調整の際の参考にしてください。



# カスタマイズサウンドデータベース車種一覧

No.	メーカー名	車名
0	ホンダ	ACCORD SEDAN
1	ホンダ	ACCORD WAGON
2	スズキ	AERIO
3	三菱	AIRTREK
4	トヨタ	ALLEX
5	トヨタ	ALTEZZA
6	トヨタ	ALTEZZA GITA
7	ダイハツ	ALTIS
8	スズキ	ALTO
9	トヨタ	ARISTO
10	イズ	ASKA
11	ダイハツ	ATRAI
12	トヨタ	AVALON
13	ニッサン	AVENIR
14	マツダ	AZ-OFFROAD
15	マツダ	AZ-WAGON
16	ニッサン	BASSARA
17	トヨタ	bB
18	トヨタ	bB OPEN DECK
19	ニッサン	BLUEBIRD
20	ニッサン	BLUEBIRD SYLPHY
21	トヨタ	CALDINA
22	トヨタ	CAMI
23	トヨタ	CAMRY
24	トヨタ	CAMRY GRACIA
25	マツダ	CAPELLA SEDAN
26	マツダ	CAPELLA WAGON
27	トヨタ	CARINA
28	トヨタ	CARINA ED
29	三菱	CARISMA
30	スズキ	CARRY
31	ニッサン	CEDRIC
32	ニッサン	CEFIRO
33	ニッサン	CEFIRO WAGON
34	トヨタ	CELICA
35	スズキ	CERBO
36	トヨタ	CHASER
37	ニッサン	CIMA
38	ホンダ	CIVIC
39	ホンダ	CIVIC FERIO
40		CONVERTIBLE
41	トヨタ	COROLLA
42	トヨタ	COROLLA CERES
43	トヨタ	COROLLA FIELDER
44	トヨタ	COROLLA RUNX
45	トヨタ	COROLLA SPACIO
46	トヨタ	COROLLA WGN
47	トヨタ	COROLLA II
48	トヨタ	CORONA
49	トヨタ	CORONA EXIV

No.	メーカー名	車名
50	トヨタ	CORONA PREMIO
51	トヨタ	CORSA
52	トヨタ	CORSA SEDAN
53		COUPE
54	トヨタ	CRESTA
55	ニッサン	CREW
56	トヨタ	CROWN
57	トヨタ	CROWN ESTATE
58	CHEVROLET	CRUZE
59	ホンダ	CR-V
60	ニッサン	CUBE
61	スズキ	CULTUS
62	スズキ	CULTUS WAGON
63	トヨタ	CURREN
64	トヨタ	CYNOS
65	ニッサン	DATSUN PICKUP
66	三菱	DELICA SPACE GEAR
67	三菱	DELICA STAR WAGON
68	ダイハツ	DELTA WAGON
69	三菱	DIAMANTE
70	三菱	DIAMANTE WAGON
71	スバル	DIAS
72	三菱	DINGO
73	トヨタ	DUET
74	三菱	ECLIPSE
75	ニッサン	ELGRAND
76	スズキ	ESCUDO
77	トヨタ	ESTIMA
78	スズキ	EVERY
79	フォード	EXPLORER
80	マツダ	FAMILIA
81	マツダ	FAMILIA S WAGON
82	イズ	FILLY
83	ホンダ	FIT
84	スバル	FORESTER
85	日本フォード	FREDA
86	三菱	FTO
87	トヨタ	Fun Car Go
88	トヨタ	GAIA
89	三菱	GALANT
90	イズ	GEMINI
91	ニッサン	GLORIA
92	VW	GOLF
93	VW	GOLF WAGON
94	トヨタ	GRAND HIACE
95	トヨタ	GRANVIA
96	三菱	GTO
97		HATCHBACK
98	トヨタ	HIACE REGIUS
99	トヨタ	HIACE WAGON



No.	メーカー名	車名
100	トヨタ	HILUX SPORTS PICK UP
101	トヨタ	HILUX SURF
102	ホンダ	HR-V
103	スバル	IMPREZA
104	スバル	IMPREZA WAGON
105	ニッサン	INFINITY Q45
106	ホンダ	INSIGHT
107	ホンダ	INSPIRE
108	ホンダ	INTEGRA
109	ホンダ	INTEGRA SEDAN
110	トヨタ	IPSUM
111	日本フォード	IXION
112	スズキ	JIMNY
113	スズキ	JIMNY WIDE
114	スズキ	Kei
115		KEI CAR
116	トヨタ	KLUGER V
117	ミツビシ	LANCER CEDIA WAGON
118	トヨタ	LAND CRUISER 100
119	トヨタ	LAND CRUISER 70
120	トヨタ	LAND CRUISER 80
121	トヨタ	LAND CRUISER CYGNUS
122	トヨタ	LAND CRUISER PRADO
123	マツダ	LANTIS COUPE
124	マツダ	LANTIS SEDAN
125	マツダ	LAPUTA
126	ニッサン	LARGO
127	日本フォード	LASER LIDEA SEDAN
128	日本フォード	LASER LIDEA WAGON
129	ニッサン	LAUREL
130	スバル	LEGACY
131	スバル	LEGACY B4
132	ホンダ	LEGEND
133	ミツビシ	LEGNUM
134	ニッサン	LEOPARD
135	トヨタ	LEVIN
136	ミツビシ	LIBERO
137	ホンダ	LIFE
138	トヨタ	LITEACE NOAH
139	ニッサン	LUCINO
140	ニッサン	LUCINO S-RV
141	ニッサン	MARCH
142	ニッサン	MARCH BOX
143	トヨタ	MARK II
144	トヨタ	MARK II QUALIS
145	ダイハツ	MAX
146	マツダ	MILLENIA
147		MINIVAN
148	ダイハツ	MIRA
149	ダイハツ	MIRA GINO

No.	メーカー名	車名
150	ミツビシ	MIRAGE
151	ミツビシ	MIRAGE ASTI
152	ミツビシ	MIRAGE SEDAN
153	フォード	MONDEO SEDAN
154	フォード	MONDEO WAGON
155	ダイハツ	MOVE
156	マツダ	MPV
157	トヨタ	MR2
158	トヨタ	MR-S
159	マツダ	MS-9
160	イスズ	MU
161	トヨタ	NADIA
162	ダイハツ	NAKED
163	ホンダ	ODYSSEY
164	トヨタ	OPA
165	ダイハツ	OPTI
166	ホンダ	ORTHIA
167	ミツビシ	PAJERO
168	ミツビシ	PAJERO Jr.
169	ミツビシ	PAJERO MINI
170	トヨタ	PLATZ
171	スバル	PLEO
172	ニッサン	PRAIRIE LIBERTY
173	ホンダ	PRELUDE
174	マツダ	PREMACY
175	ニッサン	PRESAGE
176	ニッサン	PRESEA
177	ニッサン	PRIMERA
178	ニッサン	PRIMERA WAGON
179	マツダ	PROCEED LEVANTE
180	ニッサン	PULSAR
181	ニッサン	PULSAR SERIE S-RV
182	ダイハツ	PYZAR
183	ホンダ	RAFAGA
184	ニッサン	RASHEEN
185	トヨタ	RAUM
186	トヨタ	RAV4
187	ニッサン	R'NESSA
188	マツダ	ROADSTER
189		RV
190	マツダ	RX-7
191	ホンダ	SABER
192	ニッサン	SAFARI
193		SEDAN
194	マツダ	SENTIA
195	ニッサン	SERENA
196	ニッサン	SILVIA
197	ニッサン	SKYLINE
198	ニッサン	SKYLINE SEDAN
199	ホンダ	S-MX

No.	メーカー名	車名
200	トヨタ	SOARER
201	トヨタ	SPARKY
202	トヨタ	SPRINTER CARIB
203	トヨタ	SPRINTER MARINO
204	トヨタ	SPRINTER WAGON
205	ニッサン	STAGEA
206	トヨタ	STARLET
207		STATION-WAGON
208	ホンダ	STEP WGN
209	ダイハツ	STORIA
210	ホンダ	STREAM
211	ニッサン	SUNNY
212	トヨタ	SUPRA
213	スズキ	SWIFT
214	フォード	TELSTAR
215	フォード	TELSTAR WAGON
216	トヨタ	TERCEL
217	トヨタ	TERCEL SEDAN
218	ダイハツ	TERIOS
219	ダイハツ	TERIOS KID
220	ニッサン	TERRANO
221	ニッサン	TERRANO REGULUS
222	ホンダ	TORNEO
223	トヨタ	TOWNACE NOAH
224	スバル	TRAVIQ
225	トヨタ	TRUENO
226	イズ	VEHICROSS
227	トヨタ	VEROSSA
228	ホンダ	VIGOR
229	トヨタ	VISTA
230	トヨタ	VISTA ARDEO
231	トヨタ	VITZ
232	スバル	VIVIO
233	VOLVO	VOLVO70
234	VOLVO	VOLVO850
235	スズキ	WAGON R
236	スズキ	WAGON R+
237	トヨタ	Will Vi
238	トヨタ	Will VS
239	トヨタ	WINDOM
240	ニッサン	WINGROAD
241	イズ	WIZARD
242	ニッサン	X-TRAIL
243	ダイハツ	YRV
244	ホンダ	Z
245	ニッサン	180SX

データベースに該当する車種がない場合はこの中からお選びください。





古紙配合率100%再生紙を使用しています